京城日報

（朝夕刊合せて十頁）

發行所 合資會社京城日報社 電話光化門 振替京城三〇〇〇番
發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介

研究社の學年別英語雜誌

新年號特別號出來

統一的組織の下に刊行せらる丶我が研究社の學年別四大英語雜誌の讀者は各々英學力に適したるものを自由に選擇し得るが故に六ツかしすぎる記事や、やさしすぎる記事の爲めに誌面の過半を面白くなく讀過するの不愉快なく頭より尾まで常に不變の興味を以て愛讀する事を得べし。頁數を増加し紙質を改良し。大附錄を附せる新年號を見よ！讀め！

研究社と英語雜誌及英語書類

研究社の前名が「英語研究社」であつた事は今の世人の耳に新たなる筈であります。弊社が英語普及に對する異常なる努力は、毎月刊行の學年別英語雜誌を初め、初步英語より高尚の英文學に至る迄刊行數十冊の各版に依つて明かの事と存じます。三六判九十六頁寫眞入りの圖書總目錄申し越し次第送呈いたします。

東京麹町富士見町六丁目 研究社 振替東京二八六〇一番 電話九段一五七〇・三八二三

中學一年程度 ABC

親切第一 英語雜誌 新年號は 童話童謠號

目次と新年附錄

面白く樂しく獨りで英語の學べる日本一の英語雜誌

童謠 ●露の歌（繪入）●鳥（譯入）●飛行機（繪入）●歌と新聞（ダイムス）●妙なことば（譯附）●英語の歌（說明附）

童話 ●クリスマスの英語劇 ●黃金の洪水（印度童話）●浮かれ鼠（拘腹絕倒）●提灯行列（英國少年氣質）●空への旅（合讀の涙）●三太黑主（クリスマス前夜）

●進行形と將然形●新年の會話と手紙●英語讀本の研究●英文日記の書き方●會話・作文・文法●西洋紙のつかひ方●和文英譯の練習●英字新聞の讀み方

新年特別 大附錄 男性女性 競爭双六 ▼新年餘興 寶島（一百人） ▼讀者互選 懸賞 大懸賞 大試驗成績 英習字（投賞）誰れにも出來て面白い 互選で等級を定む

新年號 定價五十錢 送料二錢

中學二年程度 初等英語

新年號は『新年お話大會號』 趣味と實益 無盡藏

目次と新年附錄

新年お話大會 一、開會の辭 二、童話『絕壁の家』 三、史話『亞歷山王』 四、童話『眞珠』 五、御伽噺『クリスマス姬物語』の飾り木 六、立志談『少年時代のリンカーン』一代記 七、御伽噺『法螺男爵北極熊退治』その他

新年特別 大附錄 不規則動詞諳誦用カード 特に厚紙を使用す 新年附錄のレコードを破つた眞面目な勉强道具です

▼新年の會話と手紙の書き方 ▼米國の年中行事（一月の卷） ▼別册附錄 英語新聞 初英タイムス ▼英語の唱歌（樂しき我家）▼和文英譯の練習、英作文講話

新年號 定價五十錢 送料二錢

中學三年程度 中等英語

全紙面の記事悉く中學三年程度說明親切明快

新年號は『世界物語號』 編輯親切 進步的!!

新年號目次大要

世界物語號 ▲黃金王（希臘神話譯）▲王樣と惡漢（イギリス物語）▲不老の泉（スペイン物語）▲魔界敵走（瑞西物語）▲大江山物語（日本童話英譯）▲天の羽衣（本英譯）▲北極の虎（科學小說）▲ハムレット（子供本英譯）

▲新年の會話 ▲正月の手紙 ▲英作文講話 ▲英詩の研究 ▲受驗準備の手引 ▲何は何といふか

挿入附錄 中英タイムス 新年號より面目一新せり

活氣と熱心全誌に漲り程度中學三年以外に一步も出る事なし

■英字新聞の研究 ■試驗問題の研究 ■英ポンチ ■正月の日記 ■新年餘興 ■讀者クラブ、記者の手紙

□英作文 □三十語 □毎月の試驗 □英習字 □穴さがし □算術と代數 □ロウマ字文 □大試驗 □英文和譯 □五選 □寫生英字 □單語研究

新年號 定價五十錢 送料二錢

四五年受驗程度 英語研究

理想の受驗生と英學生 受驗生讀め 見よ 受驗生諸君!!

各高等學校、各專門學校入學志望者に

希望する理想の英語力 各高等專門學校教授執筆

日本語と限らず言葉 東京高師教授 岡倉由三郎

高等學校入學試驗英語の讀力 六高校教授 鳴澤寡愆

理想の英文解釋法 京都帝大教授 石田憲次

理想の英作文法 青山學院教授 佐伯有三

外國語講座 一、ドイツ語講座 二、フランス語講座 三、エスペラント講座

特別附錄 研究タイムス

新年號 定價五十錢 送料二錢

クリスマス 絕好の贈物

クリスマスに因んだ面白いお話や美しい繪や寫眞が滿載！ クリスマス・プレゼントとして「少年」「少女」新年號が出來ました

少年

■サンタクロース……表紙
■中央お伽會上演大好評 乞食のサンタクロース……お伽劇
■一本足の飛行兵……歷史小說
■泉州の櫻……
■金貨の名代のお月樣……少年小說
■クリスマスの面白い話
■白い兎と赤い花……童話
■クリスマスの……

少女

其夜のヒロイン……正治
■クリスマス前夜……少女歌劇
■クリスマスの夢……少女漫畫
■サンタクロースへ……少女小說
■母を思ふの歌……お伽噺
■ベラよ語れ……少女小說
■三日月の響……美人傳說
■ゆく年の花に……時物語
■龍の……

毎月二回各一册廿錢 東京 時事新報社（振替口座東京六千番）

內科小兒科 外科花柳病 松本醫院

最新刊

武者小路實篤著 或る男 參、八〇
ストリンドベルク著 女中の子 參、八〇
大杉榮 伊藤野枝著 乞食の名譽 壹、四〇
菊池寬著 わが文藝陣 壹、三〇
三宅やす子著 生活革新の機來る 壹、九〇
田川大吉郎著 作らるべき東京 一、五五

京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五七三番 電話本局二〇八六番

公示催告

大正十二年民申第二八八六號

申立人 橫濱市元濱町壹丁目壹番地 株式會社橫濱銀行 右代理人辯護士 片岡介三郎

右ハ株式會社朝鮮殖産銀行發行朝鮮殖産債券……ノ證券ヲ……紛失シタリトシテ公示催告ノ申立ヲ爲シタリ右證券ノ所持人ハ大正拾參年六月……日迄ニ當院ニ其證券ヲ提出シ權利ヲ届出ヅヘシ若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ其證券ハ無効ヲ宣言スヘシ

大正拾貳年拾貳月貳拾貳日

京城地方法院

公示催告

大正十二年民申第二八八七號

申立人 橫濱市南太田町字東耕地二千百八十四番地 小林壽治郎 現住所 京城府……

右ハ……株式會社朝鮮殖産銀行發行……ノ債券ヲ……紛失シタリトシテ公示催告ノ申立ヲ爲シタリ右證券ノ所持人ハ大正拾參年……日迄ニ當院ニ其證券ヲ提出シ權利ヲ届出ヅヘシ若シ其届出ヲ爲サヽルトキハ其證券ハ無効ヲ宣言スヘシ

大正十二年十二月二十二日

京城地方法院

行政講習所講習生募集

大正拾參年四月入所セシムヘキ講習生……名ヲ募集ス志願者ハ……大正十二年十二月二十三日以降ノ朝鮮總督府官報又ハ各道府郡島ニ就キ承知スヘシ

大正十二年十二月

朝鮮總督府

第五十六回決算報告

大日本製糖株式會社

自大正拾貳年五月壹日 至同年拾月參拾壹日

貸借對照表（大正拾貳年拾月參拾壹日現在）

負債之部	金額
株金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
配當準備積立金	[illegible]
社員職工退職給與積立金	[illegible]
扶助積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
未納稅金	[illegible]
未査定品稅金	[illegible]
保證預り金	[illegible]
社員及職工積金	[illegible]
支拂手形	[illegible]
假受金	[illegible]
買掛金	[illegible]
未拂物件	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]

資産之部	金額
未拂込株金	[illegible]
大里工場買收費	[illegible]
土地	[illegible]
建物	[illegible]
機械	[illegible]
船舶	[illegible]
鐵道及船渠	[illegible]
電話及電燈	[illegible]
器具及家畜	[illegible]
什器	[illegible]
貸下開墾地	[illegible]
爪哇製糖事業投資	[illegible]
未納稅擔保有價證券	[illegible]
保證金	[illegible]
原料栽培資本貸付金	[illegible]
假拂金	[illegible]
未收金	[illegible]
工場用品在高	[illegible]
原料在高	[illegible]
半製品在高	[illegible]
製品在高	[illegible]
有價證券	[illegible]
貸掛金	[illegible]
受取手形	[illegible]
預金	[illegible]
當座預金	[illegible]
金銀在高	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算

科目	金額
收入	[illegible]
支出	[illegible]
差引 當期利益金	[illegible]
內 震災損失金	[illegible]
差引 當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
內 法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
別途償却金	[illegible]

法定ノ書類ハ……株主總會ニ於テ承認ヲ經タリ

取締役社長 藤山雷太 常務取締役 伊澤良立 同 伊吹震 同 鈴木三郎 同 金澤冬三郎 取締役 星野錫 監査役 指田義雄 同 岡村左右松

中央公論新年號

低級にして俗惡なる内容を蔽ふに誇大にして煽動的なる廣告を以てし未だ批判力と教養の乏しき人士をして一層卑陋なる趣味と劣惡なる思想に陷らしめんとするもの我が同業者間に稀ならざるを深く愧ぢ且つ慨し我等は雜誌の文化的使命と操觚者の指導的精神を發揚するを以て刻下の最大緊急事と信じ全誌菊版八百廿頁四百字詰原稿紙二千百枚を擧げて悉く論壇文壇及び思想界第一流の大家に囑し現下の我が日本に於ける文化の最高標準を示すを得たるは吾等の窃かに誇とする所なり我等は一層奮勵努力して深厚なる大方の脊遇に酬いんことを復興第一年の年首に方つて江湖諸彥に宣す

■口繪 鶯を放つ乾山……安田靫彥

大正十三年を迎ふるに際して……卷頭言

■わが同胞のために 轉禍爲福の根本策を唱說す……田中王堂

■子孫を愍む……理學博士 丘淺次郎

■都市美論……工學博士 佐藤功一

■自力復興……岡田信一郎

普選の實績を擧ぐべく新有權者への言葉

■一票が代表する自己……法學博士 杉森孝次郎
■新有權者に對する吾人の期待……法學博士 吉野作造
■新有權者への言葉……安部磯雄
■普選の實績を擧ぐる爲めに……文學博士 三宅雪嶺
■要點はこゝにある……室伏高信
■普選と勞働總同盟……林癸未夫
■普選の實績を擧ぐべく新有權者への辭……法學博士 堀江歸一

■歐洲文明の衰頽と米國文明の隆興……柳澤健
■大正十三年の財政計畫と復興豫算を評す……法學博士 堀江歸一
■文明の意義、價値、その運命……室伏高信
■舊プロ文學の破滅と新プロ文學の創造……林癸未夫
■山本內閣對政友會觀……文學博士 三宅雪嶺
■復興豫算と財政私見……法學博士 渡邊銕藏

十二月廿一日發賣 特價壹圓八拾錢 郵稅五錢

東京丸ノ內ビルヂング七階七六一 振替口座東京四三三番 電話長○五三二 中央公論社

小說 人の災難……正宗白鳥
小說 或る男の手記……豐島與志雄
戲曲 だるま……武者小路實篤
小說 キリストと祖父と母……野上彌生子
小說 或る社會主義者……長與善郎
小說 悲しきチャアリイ……宇野浩二
小說 雨蛙……志賀直哉
戲曲 震災餘譚……菊池寬
小說 顏……中條百合子
對話 退屈問答……佐藤春夫
小說 糸女覺え書……芥川龍之介
小說 不安のなかに……德田秋聲

■ピヨトルの猫と私の猫……長谷川如是閑
■人間の弱さと强さ……相馬御風
■夢の古都『南京』……村松梢風
■新東京花街鳥瞰……松川二郎
■屠蘇盃に映る酒徒の顏……田中貢太郎

大正十二年を送りて大正十三年を迎ふる辭
■大正十三年を迎ふる辭……長田秀雄
■思想の曙光に明けんとする十三年……小川未明
■新しい芽……田山花袋
■自然に還れ……上司小劍
■新年を迎ふるに方つて所感を誌す……近松秋江
■反省と希望……本間久雄

■福太郎と幸兵衛の復興對話……生方敏郎
■日本近代詩の浪曼運動……日夏耿之介
■毛禮卿及其時代……德富蘇峰
（時論）甘粕公判廷に現れたる驚くべき謬論……千虎俚人
■無題錄……古川學人

第四十八帝國議會

貴院本會議(夕刊より續く)
不敬事件で秘密會を開く

【東京電報】貴族院本會議は午前十時三十五分再開黒田副議長席に着き

山本首相 登壇昨日の出來事は誠に恐懼に堪へませんから茲に御報告致します

とて昨日衆議院に於ける不祥事の報告を爲し議長は更に司法大臣より昨日の事變に付き報告がありますからと述べた後秘密會となる時に午前十時四十分正午秘密會終る徳川議長は奉答文捧呈に付き報告し殿下より勅語を賜はつたとて全員起立中に左の勅語を奉讀す

朕貴族院の深厚なる敬禮を嘉す

次ぎに議長は天機並に御機嫌を奉伺したる旨を報告し零時五分休憩午後一時三十分再會

貴族院本會議は午後一時三十五分再開日程に入り全院委員長の選擧を行ふ結果は總投票數百四十九票に對し

一四九票 蜂須賀正韶侯
一票 近衞文麿公
一票 無效

即ち蜂須賀侯當選す

次ぎに常任委員の選擧に移り議長は各部に於て選擧されたしと宣し午後一時五十五分休憩

貴族院本會議は午後二時四十分三度開會議長は書記官をして常任委員の指名を報告せしめ尚子爵京極高義氏逝去に付弔辭を贈る事を諮り異議なく之にて日程を終り議長は一月二十日迄休會し尚緊急議事を要するものあれば休會中でも參集され度しと諮り之に決し午後二時五十分散會

貴院秘密會 順序

【東京電報】廿八日貴族院に於ける秘密會の內容は其經過を洩れ聞く處に據れば午前十時半秘密會に入るや劈頭茶話會の江木千之氏質問の口を切り純無所屬の中川良長男公正會の藤村義朗男研究會の大木遠吉伯無所屬の黑田長和男公正會の赤池濃公正會の土屋光金男公正會の辻太郎男研究會の順にて朝廷兇徒取締に關し峻烈なる質問を連發し山本首相は『取締不行き屆きの責任免れ難く內閣は總辭表を提出し謹慎中であります』と答へ尚當日の取締及從來共產主義者その他の危險主義者取締に付き山本首相及平沼法相岡野文相岡田警保局長等の答辯說明があつたと

衆院本會議(夕刊より續く)

【東京電報】衆議院は十一時五十五分再會し粕谷議長勅語奉答文捧呈の報告を爲し起立中に左の勅語を奉讀す

朕衆議院の深厚なる敬禮を嘉す

次いで議長は天機並に御機嫌を奉伺したる旨を報告す(以下抹削)る二十三日臨時議會の最終日に議長は私に對し穩かならざる態度を採つたとてベロ〜喋べり立て喰つて掛る議長は田淵君が議長席に來たから書記官の方へ行きなさいと云つたのみだと辯明し書記官より常任委員の選擧の結果を報告し本會議委員會質問日を既報の通り決定し一月二十日迄休會する事とし正午過ぎ散會

下院豫算委員 決定

【東京電報】第四十八議會衆議院豫算委員左の如く決定

第一部 鳩澤總明、伊澤平左衞門、井上敬之助、岩崎宗茂助、東武(以上政友)望月小太郎、川崎克(以上憲政)

第二部 熊谷直太、中西六三郎、政野耕三、三土忠造(以上政友)高田耘平(憲政)近藤達兒(革新)

第三部 井上角五郎、平田民之助、長峰與一(以上政友)下岡忠治、早速整爾、飯塚春太郎(以上憲政)森下龜太郎(庚申)

第四部 野田卯太郎、武藤金吉、大島寅太郎(以上政友)荒川五郎、石原慶隆(以上憲政)田川大吉郎、鈴木久次郎(以上革新)

第五部 指田義雄、廣瀨鎭之、植場平、渡邊禰策(以上政友)門尾尚志(憲政)小管劔之助、奧村千太郎(以上革新)

第六部 木下謙次郎、八田宗吉、久慈貢一、宮崎友太郎(以上政友)永井柳太郎、一柳仲次郎(以上憲政)清瀨一郎(革新)

第七部 鈴木錠藏、西田鎭吉、淺石惠八、高山長幸、小川平吉(以上政友)本田恒之、磯貝浩(以上憲政)

第八部 宮崎三之助、植竹龍三郎、高橋高威、齋藤藤太郎、手里保太郎(以上政友)齋藤宇一郎(革新)

第九部 小島八郎右衞門、山本条太郎、瀧正雄、川原茂輔、門田新松(以上政友)鈴木富士彌(憲政)大口喜六(革新)

普選を中心に政情の一大緊張
政府部內の硬軟二潮流

山本內閣の所謂屈從的態度は兎も角も臨時議會を切拔けたが果して通常議會の難關をも突破し得るや否や、山本首相自身と雖もまだ何等の成案はあるまい、而して通常議會に於ける難關の第一は普選問題で議會の多數黨たる政友會との正面衝突は何としても免れ得ない殊に閣內の一部殊に首相の周圍にある薩派の間には普選案の內容緩和に依つて

衝突 を避けやうと極力運動を試みてゐる、而もこの運動にして奏功せば閣僚中の急進派(普選に對する)たる犬養、後藤兩相等は勿論其立場を失ふに至るべく殊に犬養氏の如きは革新派を背景とするだけに全然政治的生命を失ふに至るべきを以て極力緩和運動に反對し其地位を賭するであらう、要するに普選を中心として閣內硬軟兩派は昨今互に必死の運動を試みてゐるが特に犬養、後藤兩相等は臨時議會に於ける政友會の挑戰的態度を利用して內閣硬化運動に必死となる『このまゝで行けば進退何れの方法にしても政友會との衝突は免れず、政友會の本心は決して火保問題又は普選問題を目標として之を批判せんとする所謂政策上の內閣攻擊でなく山本內閣の存在そのものを目標に

不利 なりとするのであるから假令政府が如何に手を盡して妥協提合に努むるも種々なる題目を提へ來つて內閣顚覆を策すべきは火を睹るより明かである、即ち政友會の眞に目標とする所は來年の總選擧であつて此總選擧を所謂我黨內閣の手で行ふか、又は前內閣の如き准政友內閣ともいふべき內閣で行はんとするにあつて現在の山本內閣は固より此理に牴まつたものではない、今後內閣が大改造をなして所謂硬派全部を斥け緊縮の如きものを以てして、毫も政友會の頤使に甘んぜざる限り現內閣に對する攻勢を緩改することは斷じてあるまい、然も斯の如きは即ち政府が政友會と妥協待合し、前首相の持論たる各政派に對する一視同仁に背反し一方に偏するものであるから山本首相としても

組閣 の意義を全然失ふことゝなる 斯かる次第であるから政府としては此場合寧ろ進んで運命の開拓に努め所謂國民を背景とし國民の希望する所に向つて政策を斷つるの外はない、即ち寧ろ政友會の意を迎ふるの必要はない、輿論の希望する普選を斷行するのが政府として策の得たる所であつて之れ即ち死中に活を求むる所以である』と云ふのが硬化運動の理由となつて居る、政府部內の前記二潮流が今後何れに落ちつくかは未だ不明であるが遲くも來年一月中には普選に對する政府の方針も確定すべく何れにせよ休會明けの通常議會は政情の一大緊張を見るであらうと觀測されて居る(東京)

首相も普選では虎と化するだらうと某昵近者語る

【東京電報】今回の山本首相の態度は外觀から見る時は實に屈從の態度であるが斯くも首相の屈從的態度を見る時は何人も首相の老ひたりを甚だしきもので何人も首相の老ひたりとの感を抱かしむるものがあるが、之れに就ては何如に老ひたりと雖も爽心非常の苦心なくては叶はぬ事である。今首相が屈從の理由となるものを見ると、實に次の三理由がある

第一、宮中の御凶變に先だッて議會を解散し御凶儀に際して議會がないといふ主として宮相よりの壓迫的要求

第二、解散の爲め復興計畫を此儘に延引さすといふ事が如何にも現狀の上から忍び難きといふ考

第三、薩派の有家無案が擧つて政友會との宿緣を一擧にして破るを恐れて絕對に解散反對を以て首相の袖を引き止めたこと

此三理由である。首相としては總其物が假令後藤子の案であるにしても之を認め內閣の責任を以て立案議提議といふ順序に迄至つた事を一擧にして飜へさざるには如何に其內心の苦悶があつたかは之を察するに餘りがある。しかも今や復興案は兎も角も一段落を告げ得たのであるから、通常議會に於ては少くとも前三理由中の一二丈は全然理由なしとなつたのである。そこで首相としては僅かに其一味郎黨の袖を引き止める位の事であるから、

自家の確信 に基いて猛然として猛進し得る立場に立ち得たのである、世間では首相が普選案では恐らく豫め政友會の意を迎へて妥協的な案を議會に提出するだらうといふものがあるが普選案に就ては既に臨時議會中に政友會は野田卯太郎氏を以て首相に會見を申込み普選案を政友會の意に副ふ樣にと賴み込みに行つた位なので其代りにと謎をかけたのに對し斷然として自說をさへ搖んだのに照らして見れば、

今更政友會 の御機嫌をとつて普選案を以て政友會の意を迎へるなどゝいふ事は斷じてないのである、故に首相が通常議會に於て普選案と心中するの覺悟で進むことは全然と見る可きである、只之を口にし得ず首相があらゆる苦衷を胸中に收めて屈從して居るのは實に同情に餘りがあると某首相昵近者は物語つて居た

首相の心理果して斯の如きか否かは恐らく通常議會の成行きを見ねば分らぬ。

政府との衝突は免れまい
政友の普選態度

【東京電報】普選問題に對する政友會の態度は政府は勿論國民一般の注目する所であるが未だ政友會としては態度が決定されて居ないが併しながら床次總務の如きは同問題に對し(一)普選は大正十七年から施行すると(二)區制は大選擧區制とする事(三)選擧資格に就ては何等かの條件を附する意見を有し此條件に反した普選案には絕對に反對すべしと云つて居るが選擧資格の條件に就ては獨立の生計を條件とするか或は世帶主を條件とするか此等の點に就ては未だ決定して居ない樣であるが床次氏のみならず幹部の多數は普選案の即行に反對であると同時に現行の小選擧區制を改正して大選擧區制に改むるとには反對の意見を有して居るが選擧資格の條件に就ては幹部の多數は世帶主を主張して居るやうであるから從つて政府の普選案に對する態度如何に依つては政府對政友會の衝突は到底免れない模樣である

研究緊急總會

【東京電報】研究會は二十八日緊急總會を開き本日の貴族院に於て勅語奉答文了後山本首相より昨日の事件の報告があつた後直ちに質問を開始し若し政府の答辯不得要領に落ちた時は再び總會を開き機宜の處置をとる事とした

農村金融窮迫
勸銀に低資五千萬圓融通出願か

【東京電報】震災以來地方農村金融の梗塞は益々甚だしきを加へ殊に輸送交通の回復せざるため米穀等の商品化は困難となつてゐる上信用の縮小からすべて現金取引によつて決濟せられつゝあるので農村金融は全く行詰りの形にある而して每年勸業銀行が政府から融通を受くる二千萬圓の低利資金があるけれどもこれは自ら用途が極つてゐて多く耕地整理する事が出來ずまた大藏省による資金は總て市街地の住宅地を目的としてゐるのであるからかたぐ農村の時局救濟資金として要望せられるものは地方貸付金の返濟せられたものゝみでこれが救濟の調達方法の考究中である
が非常な資金難にあり勸銀では之れが計劃されてゐるがこれは政府の意嚮で來春小額債券の發行も計劃されてゐるが或は計畫の中止に至るやもはかられず結局五千萬圓程度の低利資金の融通を要請する事になるであらうと

內閣の進退は
廿八日中には片付くまい

【東京電報】二十八日午前八時三十分山本首相は赤坂離宮に參內したのは牧野宮相と會談の爲めであつた首相は四十分宮相と會談の上退出して閣議に臨み九時五十分再び參內したがこの時攝政殿下に上奏し首相を召された上「昨日の辭表は預かつて置く何分の沙汰あるまでは其儘政務を見よ」との意味の有難き御諚があり山本首相は其儘辭退して御前を退出したり殿下には二十七日夕山本首相から辭表捧呈の時は御諚をも御下せられなかつたと拜察する何れ興津へ行つた入江侍從長は西園寺元老に殿下聞の次第をも傳達すべく之に對し元老の奉答の次第を奏上した上殿下より御沙汰があるであらうから二十八日中には內閣の進退は到底片付くまいと

外債募集
は東京市債から着手に政府決定

【東京電報】政府は復興資金の調達を成るべく外債に依る方針であるけれども復興計畫の實行中自然材料の輸入增加し貿易入超額の增加を免れざるべく而も頻りに外債の發行を避くるときは爲替銀行の在外資金縮少となり爲替の價格をして益々低落せしむる恐れがある、從つて財界の安定上必要の資金はこれを外債に求むることゝなつて居るがさて外債の發行時期に付いては英米市場の發債狀態を選ぶこととなつて居る、そして兩市場の現狀よりすれば相當

巨額の募集 も困難でない形勢であるから明年償還期限の到達する英貨四分半利公債の借換が容易であるとすれば殊更に右公債の償還準備のため在外正貨を保有し置く必要なく差當り公債の借換に必要の金額は現存在外正貨より撥下げ置き他日米英市場が最も募債に適する時期に募債するが宜いとの說が當局筋に餘程有力となつて居る、それで政府の外債發行はまだ着手の運びになつてゐないが東京市は成るべく速かに復興計畫の實行に着手する方針でその資金の調達方法を講じてゐる而して

米國市場は 政府の保證さへあれば市外債を歡迎するので過般正金銀行より宮鈴太郎氏の渡米となつた次第で同氏の著米後にいよ〜具體的の交渉を進められる模樣である、尤も市外債の保證は議會の承認を必要とし通常議會においてその採否を決定せらるゝ筈であるかたぐ市外債の愈々成立するは明年二月頃ならんかと消息通觀測されて居る、因に募債金額は未だ確定せざるも恐らくは一億圓から一億五千萬圓程度であらうといはれてゐる

議會雜觀 衆議院

【東京支局特電】本年最終日の本會議は午前十時から開會昨日の今日とて孰れも緊張した顏で冗談一つ云ふものもない▲粕谷議長奉答文捧呈の報告をなし全員起立敬聽裡に勅語を捧讀▲議事に入り山口第五區選出代議士難波作之進君の辭職許可を議長が會議に諮り一致にて辭職を許可することに決す▲田淵君『議長から突かれたところが痛むがどうして呉れる議長が誠意を以て應へなかつたと詫びれば容してやる』と議長と押問答した▲が結局要領を得ず昨日以來議場に缺席した▲各派共控室に入り政局の成行きに就て擬議を凝らし何れも自黨に都合の好い結論を作つて居る

貴族院

【東京支局特電】秘密會の內容は極秘だから知れない▲『不敬事件に對して現內閣が責任觀念に就き執るべき態度如何』と質問者が續出した▲貴族院の大久保彦左衞門格の江木千之老の如きは一言一句涙を呑むとして下つた涕淚は實に其言々句々涙であつたさうな▲黑田長和男、土屋光金、辻太郎兩男等の如き誠忠義烈の士が誠心誠意からの質問に更に緊張を緊張せしめ相だ▲山本首相亦之に對して誠心誠意赤心を瀝つて答辯した流石豪放なる首相も今回の不敬事件には心から氣の毒のやうだ大臣室から貴族院の廊下を降つて來る足付きにも力が拔けたやうで白い鬚は一際眞白になつたやうだ▲今日は後藤內相が姿を見せぬので責任を自覺し謹慎したのかと思つたら實は昨日の事件顚末を沼津に在る殿下に御報告に行つたのださうだ▲犬養遞相、平沼法相、伊集院外相等の閣僚も今日は辭表を提出したせいか氣持ちが緊張りしたのか昨日の蒼白の顏に較ぶれば今日は稍顏が明るいやうに見える

米國上院の問題になつた露國の對米宣傳訓令
勞働團體は事實を否認

十九日米國國務省は露國の對米宣傳に就て國際共產黨の實際を發表し宣傳事實のある事を指摘しコムミュニストインターナショナル總裁にしてペトログラード、ソヴェエット會長たるシノビエフが米國內コムミュニスト機關たる米國勞働者黨に宛たる訓令を摘發し右インターナショナルが第三インターナショナルと共にソヴェエット政府と密接なる關係ある事を明かにした右

訓令の內容 は米國勞働者黨の過去に於ける行動を稱讚し北米合衆國の革命的プロレタリアの先驅者たる勞働者黨が引續き其革命的事業を數百萬の米國プロレタリアート間に遂行せん事を希望すと述べ之が爲めには

一、米國の主要工業にして且つ大規模工業の勞働者に向つて努力を集中する事

二、次で右勞働者の俱樂部の工場等に於て各十人を單位とする團體を組織し右十人の長として米國勞働者團の古參者にして信ある會員を之に宛て一週一回共產的計畫其他の革命遂行策を考究すること

三、右十人團は各職業及國籍別に組織すべきこと

四、各團長は各團員の性質私行革命主義の程度等を仔細に觀察し米國勞働者團の中央委員會に報告すること

五、團員中少く共三人以上の俱樂部を組織し一週一回射擊及爆彈作業の訓練をうくべきこと

六、各地方の各團長は每二ケ月一回會合を催し中央委員の出席をもとめて其活動に關し各種の討議をなし計畫を樹立することを命じてゐる

而して米國勞働者團の組織に依る總合農業勞働者團の組織に對し滿足の意を表し更に今後の努力を奬勵し最後にホワイトハウスに

赤旗飜へる 日の遠からざる事を希望してゐる、而して二十日の兩院に於ては國務省の發表に就いて議論を生じ上院に於てはモーリス、ボラー兩氏等右發表の眞否に就て上院外交委員會に於て更に事實審査をなす事に決定した右に對しシカゴ及び紐育の勞働團の首領は國務省の發表せる訓令は斷じて受けたる事なしと述べ米國勞働者團の役員は右の事實なる事を否定してゐると傳へられてゐる

京取抱株問題
昇格と同時に處分か

定時總會に於て大問題となりたる京取新市場の抱株(當所株二萬二千株)は京取側として株主より其處分に大株主を參加せしめて方法を講ぜられ度しと言ふべき形式にて要望したるが重役側は依然株式會社京城會社にて處分せざる限り種々の紛議あるべしと依然決心堅きものあるらしく之が處分は六月の次回定時總會迄には處分の交渉もあり得べしと稱し所分成立し得る見込もありと稱されるが屆代り價格たる四十二圓四十五錢の高値が明年上半期內に出すべきとも思へず從つて何等次期定時迄に處分の實を擧げざれば次期總會の大問題として益々混亂の度を增すべきものたるは疑ひなき處なるが明春朝鮮取引所令の發布と共に京取市場の昇格實現するあらば增資非增資に拘らず京取株は茲に相當の昂騰を來し右抱株の處分は實に易々たるものあるべく之が處分は寧ろ昇格の實現を待つて然る後に處分すべしとの說もあるから其の期する所又其目的も亦昇格の實現に外ならざるべしと

東京コール(東京電報)

翌日拂	二錢六厘より六厘五毛
無條件	二錢六厘より六厘五毛
普通	二錢五厘より六厘
月越	二錢五厘より六厘

普通財源に依る明年度の新事業
土木營繕、稅務監督局、朝鮮大學等

總督府明年度豫算に付いては和田財務局長二十八日東京に到着せるを以て、和田局長より入電あり次第今明日中に發表する事となつて居るが、既報の通り公債事業は政府の公債打切方針に從ひ、二千萬圓の計畫中一千二百萬圓だけを大藏省より公債に依る事業費として支出せしめられたるを以て八百萬圓だけは繰延べ又は延期となり、勢ひ何等公債事業には新事業はない事となつて居るが一方普通財源支出として當局が計上したる明年の新事業を聞くに、土木營繕は約二百萬圓で是れは勿論幾多の小事業が計上されて居るのであるが其他に於ける新事業の筆頭は稅務監督局であるとの事である。これは全鮮に亘つて監督局四、五ヶ所と稅務署約百ヶ所を設置するもので、朝鮮の稅務行政獨立から來たるもので、經費は出來得るだけ節約する筈であるが、それでもその經費九十萬圓を計上されて居るとの事である、又は古驛金等を利用するとの事である、尙ほ明年明後年の二ケ年計畫たる朝鮮帝國大學の建築費(其の一部)更に全鮮三ケ所に於ける高等普通學校新築費、咸南に於ける中學校新築費等が夫々明年の新事業の順序であると。

貯金に影響しない
本年の財界は左程

財界の消長が郵便爲替に影響する事は明白な事實であるが今大正十二年中に於ける郵便爲替に就て見るに

概して昨年に 比し取扱口數は十數萬ばかり增加して居る振出金額は百萬圓を減じ拂渡も口數八萬金額七十萬圓を減少して居る振出金額の減少せしは爲替が小口になつたことを立證するものであるが此之に取引金額の少くなることを知ることが出來る然し爲替の取扱のみを見て直に財界の狀勢を斷定することは出來ない、といふのは郵便官署の取扱ひには爲替作用を營む振替貯金といふ制度がある此の振替貯金はまだその利用が公衆全般に知れ渡つて居ない憾みがあるがそれでも世の進歩と共に漸次利用が

增加して來て 最近では京城口座の加入者も一萬三千を算するやうになつたり爲替の減少と同時に振替貯金の取扱ひが增加して居るこれを昨年に比すると拂込口數で十五萬口金額で五百萬圓拂出口數で一萬其金額で約四百萬圓を增加して居る狀態である此の振替貯金は昨年と同樣加入者が增加すれば增加する丈一般の便利が增すのであるから將來加入者の增加に連れて一層の利用を增すであらうと思ふ先づ郵便貯金を通じて觀察したところの財界取引關係は昨年に比して餘り大差がないといつて良からう貯金の方も例年の現象として十一月には減少を辿るのであるが本年もその例に洩れず

幾分減少した けれども貯金デーに依る貯金の吸收でどうかこうか增加を見て居る昨年に比すると矢張每月漸次に增加を示して居るから結局すると餘り財界の影響を受けて居ないやうに思はれる(貯金管理所某氏談)

郵便爲替振出口數

十一月中府內各郵便局所取扱に係る郵便爲替は振出口數二萬三千三十八口此の金額七十九萬八千二百三十五圓三十八錢又拂渡口數四萬四千七百九十八口此金額百八萬九千百三十七圓一錢であるが是を前年同期に比較し振出金額は二分四厘拂渡金額は一分八厘の何れも增加であると

全鮮小包取扱數

十一月中全鮮各郵便局所で取扱つた輸出入小包郵便物數は輸移入八萬千七百四十四個輸移出三萬六千個で前年同期に比し一歩二歩の增加を示して居ると

銀行歳末時間延長

殖銀會社は廿八日を以て御用納めとなりたるが府內組合銀行は二十八九兩日は平日の如く午後三時まで營業し三十日は日曜日で休業三十一日は各行共取引繁忙を呈するより一、二時間位宛時間を延長することゝなりたりと

北滿小麥輸入
加奈陀より

長春の支那側商人三名は大規模を以て北滿地方に加奈陀小麥輸入の計畫を立てた、最初是等商人は浦鹽側に於て十二月十日より來年八月末日迄運賃四割減を承認する事となつた爲め大連經由で一回輸入の分は二月十日頃長春着荷の豫定である、而して支那側商人は同月末頃迄には之を以て小麥製粉に着手し得る筈で、此の第一回分のみで滿洲の每年小麥輸入額よりも大であると傳へられてゐる、最近三四年間の滿洲小麥輸出高を見ると一九一九年四萬六千噸一九二〇年四十四萬噸、一九二一年二十四萬噸、一九二二年一萬一千噸で、本年度は不作の結果今日迄の收穫高は例年の三割乃至四割に過ぎず、之が爲め小麥の供給を輸入に仰がねばならぬ事になつたものである、而して聞く所に依れば上記の加奈陀小麥は數質優良で、滿鐵の運賃割引あるが爲め、之より得る小麥粉の相場は米國製小麥粉よりも高くはあるまいと期待せられて居る。今又別方面よりの消息に依ると哈爾賓のスンガリー小麥粉工場は多量の米國小麥を時價以下二割安を以て購入の契約を濟ませ、約三週後には此第一回著荷が哈爾賓に現れるであらうとの事である、而し二國の報道に於て、第一回著荷の期日が可なり接近して居る點から見て、或は是は同一事實を指すものではないかとも思はれると

奮起勇進號

實業之日本 新年增大號

進軍ラッパ聞こゆ!!
右手に復興の大鐵槌を握れ!!
左手に此勇進號を忘る勿れ!!

國民努力の第一義 子爵 澁澤榮一
(予が特に新年號の卷頭に寄せられた個々人の胸に閃く一大皮肉の文字であります、其を飜ひ政黨の弊を剔り平生の理想を吐露すところ萬人必讀)

新人の活舞臺切つて落さる
▽打ち鉢卷で奮起 古河合名理事長 昆田文次郎
▽災後 國民の新標語 樞密顧問官 仲小路廉
▽救はれたる日本國民 東京商業會議所會頭 藤山雷太
▽創造の大歡喜 東京社會教育課長 大迫元繁
▽如何にせば元氣旺盛 前東京高商校長 坪野平太郎
▽社會的贅澤論 東京高等師範校長 湯原元一
▽希望つも人持たぬ人 文學博士 下田次郎
▽青年にして初めて成し得 森永製菓專務 松崎半三郎

奮起勇進論 增田社長
(厭はんかな時來る、希望の年頭に當り恰かも舊き革袋を破つて迸り出づる新酒の如く痛快の大文字を讀まれよ、災厄に勝ち衰弱に勝ち失敗に勝つて幸福を得た實例者熱血を湧かす)

屆するなる!!此大勇士を見よ
▽僅廿兩が資本 男爵 大倉喜八郎
▽鞭撻されて勇進す 博進社々長 山本留次
▽余の七顛八起 淺野洋灰社長 淺野總一郎
▽店主店員 月給取で働く 東京河合服店主 河合佐兵衞
▽六十七歳 少年の意氣込 築地活版社長 野村宗十郎
▽一日三時間の睡眠 森永製菓社長 森永太一郎
▽再度の丸燒けに屈せぬ勇商人 篠月生
▽逆境から運命開拓の痛烈な實例 三篇

復興景氣來る (主筆 都倉義川)
震災內閣がたとへ瓦解しても復興はこれ自然の勢である之に新年から財界の變動を論じ大正十三年の景氣不景氣の因つて來る所を解析

各種事業の前途觀
▽モスリン界=川又上毛モス專務 ▽製粉界=五田日清製粉專務 ▽紡績界=宮本富士紡常務 ▽製紙界=穴水富士製紙專務 ▽砂糖界=中出大正製糖社長 ▽銀行界=二神日本人肥專務 ▽米穀界=木村共同精米專務 ▽肥料界=名取富士肥料社長 ▽毛織界=森本毛糸專務

今後見込のある株
其道に通じた財界の諸豪を初め東京株式取引所員二十二氏の見込はドウであらうか、新年後の景氣不景氣の好バロメーターである。(結城安田銀行副頭取・河合東株取引所理事)

時論 ▽資金融通の大缺陷 ▽本年の財界を豫測

帝都 新聞社の爭覇戰 雪峰生
東京 市內地所買入の好機會 東京建物會社 藪田岩松
郵船の新首腦者 楚水生
▽余が感動した先輩の一言及び動作 (當代知名士の有益なる話)
▽重役を凌ぐ印袢天全盛物語 紺屋町人
▽燒跡に活躍の五大吳服店 篠亭生
▽二千戶の類燒を救つた共同努力 記者
▽彼が奮鬪洋灰王になる迄 草野麥人
▽日本室暖房の理想的裝置 醫學博士 田村島
▽大地震の日の謎 ▽年頭偶言(男爵) ▽諸名士の夫人お里調べ ▽建築界の人々 ▽岩崎小彌太男の懷ろ刀 ▽バラックの美(工學博士)伊東忠太

奮起の心理學 文學博士 松本亦太郎
健康長壽法 醫學博士 小池

價六十錢 東京京橋南紺屋町 實業之日本社

御歸鮮の途に就かれた李王世子殿下並に妃殿下

褒美の金看板
を掲ぐる定州保線區
保線審査の結果

京城鐵道局が去る十一月下旬から十二月上旬に掛けて全鮮鐵道線路の保線狀態を審査する計畫で米國式のモータートロリーで審査委員長中野工務課長以下九名が安奉線を振出しに審査を開始し途中事故が多いと云ふので京仁線以下南鮮は局用車に乘つて線路審査を終了した結果は非常に遲れて二十八日發表した其發表に依ると昨年來列車事故を起した附近は何れも優良保線區となつて非常によい成績を收めて居る

一、全鮮優良保線區
平壤工務事務所管内定州保線區
一、各事務所管内可良保線區
釜山工務事務所管内金泉保線區
京城同上　龍山保線區
一、優良保線丁場
釜山工務事務所管内
大邱保線區管内新洞丁場
金泉同　深川丁場
大田工務事務所管内
大田保線管區内大田丁場
井邑同　長城丁場
木浦同　榮山浦丁場
京城工務事務所管内
龍山保線區内梧柳洞丁場
開城同　馬韓丁場
鐵原同　新炭里丁場
平壤工務事務所管内
新幕保線區内　興水丁場
定州同　新安州丁場
元山工務事務所管内
成興保線區内　新上丁場
同上　富坪丁場
安東鐵道事務所管内
新義州保線區　車輦館丁場
清津出張所管内
清津保線區内生氣嶺丁場

右の成績で全鮮優良保線區たる定州保線區には表彰規定の久保局長代に制定した優良金看板を掲げる事となり一月中京城局で特別に大々的表彰式を行はれる筈で此の優良看板は來年度の線路審査まで全鮮第一として有効であると

溫泉宿で拳銃自殺
商人風の男

師走も押し詰まつた二十六日の夜つ程東萊溫泉逢萊館の一室でピストル自殺を企てた青年がある大阪府南區西成島町二十三番地西田永次(三〇)と自稱し商人風の男で咽喉部から頭部に彈丸を貫通せる重傷に苦悶の餘り大聲で救ひを求めたので同館では大騷ぎとなり東萊警察より警察醫師出張し直に應急手當を施し自動車にて草梁鐵道病院に收容したが生命危險である同人は本月初めより釜山鐵道ホテルに滯在し別に何と言ふ用事もなく只ぶらぶら其日を送り樂人の注目を惹いて居たのでホテルでも不審に思ひ時々宿料の請求等をもして居たが今に爲替が來るとか何とか大言壯語して一日一日と押しうつり居る中二十四日無斷ホテルを出て前記の始末に及んだもので數通の書置き等により推測すると震災の爲め悲境に陷り朝鮮で何か適當の仕事を求めんとして渡鮮したるも別に何と言ふ當てもないのでついぶらぶらして居る中いつか多少の所持金も費ひ果し踏詰まつた揚句前途を悲觀したものらしく當日も逢萊館の催促を受け非常に窮して居た模様でホテルに殘された荷物にも何一つ目ぼしき物もないが滯在中いつか綠町方面の娼妓に足を入れたもの丶如く某樓の娼妓に宛た書置き遺書されて居る(釜山)

手入れを終つて
御入の日を待つ石造殿
李王世子、同妃兩殿下御滯城中の
準備全く整ふ

李王世子殿下には陸大御卒業御挨拶のため來る三十日午後六時五十分京城驛著列車から入城あらせらる丶ことは既報の如くである李王職では數日前から御滯城中御宿舍に宛てさせらる丶石造殿を手入れ中であつたが此の程漸く終り今や兩殿下の御入を待つ計りになつて居る

直に昌德宮へ
伺候あらせらる

李王世子殿下御著京當日直に昌德宮へ伺候さるべきや否やに就ては李王職當局に於て研究中であつたが愈々世子殿下には公式の御歸鮮にて殊に妃殿下には李王殿下に初めての御對顏の極めて重大な儀式があること丶て一應石造殿に入らせられたる後昌德宮に伺候されたが今回は非公式の事ではあり御著驛後南大門通りから鍾路通り鍾路角から右折鍾路三丁目角から左へ敦化門から昌德宮に入らせられ同七時三十分昌德宮に於て李王同妃兩殿下と御晩餐種々のお物語りあらせられて午後九時御發鍾路通りから黃金町一丁目角を右へ南大門通りから太平通を經て門へ入らせらる丶と

入江侍從長
沼津に伺候

入江侍從長は[illegible]沼津の[illegible]侍從長は水口屋に一泊の上廿九日更に沼津御用邸に伺候し攝政殿下の御代理として歲末の言葉を言上する筈(興津電報)

拔手の自殺

北鮮咸興郡定平面拔手金雖休は廿六日午後八時自宅に於て自殺した原因も自殺の方法も不明であるが相當込入つた事情が伏在するらしいと(大邱)

呉服屋の店員
小切手を盜んで
高飛中に捕はる

朝鮮郵船釜山安東航路平安丸船客中二十七日仁川築港出帆の際怪しき內地人學生風の男が乘り込んで居たが船客名簿には黑生山崎正雄(二〇)と記入しあるも此の者は係官の臨檢に對して京城府本町二の五四呉服商中谷虎吉方店員古本清なることを自白し同人は二十五日夜家人の目をくらまし拐帶より實業銀行小切手(額面五百圓)を携帶し其夜は何喰はぬ風を裝ひ龍山桃山遊廓にて遊び翌朝仁川に高飛びし同夜敷島遊廓松山樓に登樓し有金を費消した上裝身具其他を賣へ敷島に向け逃亡せんと企て丶ゐた處を取押へられたものと判つた(仁川)

攝政殿下御出仕
御途中の警戒頗る嚴重

攝政宮殿下には二十八日午前十時二十五分赤坂離宮御出門宮城に御出仕あらせられたが此の日は前一日から警戒嚴重を極め前驅の御車側にオートバイがついて御警衛申し上げ前驅の後方にも二臺のオートバイがサイドカーを附して扈從した群集の警戒には騎馬巡査及私服の巡査及憲兵が出動し之に當り來觀者等にも注意を拂つて居た程で特に眼についた(東京電報)

調子に乘りすぎて
暴落した膽寫版
五十圓の品が十五圓に下落
しかし安物買は御用心

「どうもこゝではやりきれません」とこぼしてゐた商賣もなにが運のめぐりあひになるかも知れない青梅の膽寫屋さんのすつかり仕事を休んで當息吐息のみぢめさが一ゆれ來た爲に手も間に合ぬ大繁盛ぶりをみせてきたのは目にもうらやましいくらゐ

地震樣のおかげで復活[illegible]

した商賣、[illegible]屋さんばか[illegible]限りがない[illegible]膽寫版屋さ[illegible]屋さんがい[illegible]してゐるか[illegible]今時は用す[illegible]力のへつた

印刷

いばりで原[illegible]來ない、そ[illegible]版屋さん、

膽寫

刷のはへた[illegible]濃版井版が[illegible]十圓、五十[illegible]イヤいくら」とせがま[illegible]もなつた從[illegible](櫻)など

平氣

はそこいら[illegible]間に合はさ[illegible]れでも當る[illegible]かまひなし[illegible]つくる、一[illegible]て印刷屋[illegible]く目にた

お調

くりすぎた[illegible]物のはげば[illegible]しかな品で[illegible]十圓から三十[illegible]二十四圓[illegible]

南山[illegible]

京城神社[illegible]となつて今[illegible]研究者を[illegible]神道、祭[illegible]てゐるが[illegible]日會を開[illegible]となり元[illegible]日は一般[illegible]山頂上で[illegible]

欠

[illegible]

災後の戀（廿九）

上司小劍

挿畫 伊東深水筆

バラック（十七）

大宮から一つ手前の停車場に停まつた時、驛夫の聲で、『三十分間停車ア』觸れ廻るのが聞えた。これまでの驛でも、ずゐぶん停車が長くて、或ところでは三十分間ぐらゐ停車したかも知れなかつたそれをこゝでわざ〳〵斷つて歩くからは、三十分どころか、一時間ぐらゐも停車するか知れない。

……さう思ふ心は誰も一つだと見えて、このまゝ暑い車室に立ち往生してゐるよりはと、いづれもプラットフォームへ飛び下りて土の上へどたりと腰をおろし、久し振に思ふ存分手足を伸ばして、欠伸をしたり、嚔をしたりしてゐる。實際話にされて立ち往生してゐる車室の內では欠伸や嚔も思ふ存分には出來ないのであつた。

光多は同じやうに車室を出たが、牢獄から放れた時は、こんなでもあらうかと、自由な樂々とした氣持になつて、端の方の電柱の蔭に腰をおろした。プラットフォームと言つても、小さな驛なので、光多の下りたあたりにはもう屋根もなくて、大空には星がキラ〳〵瞬いてゐる。石も何も敷いてない自然の土の上に腰をおろして、田畑につゞく土手へ足をブラ〳〵させてゐた。土手には草が繁つてゐて冷やりとしたいゝ氣持を、疲れた腰にあたへる。膝頭は矢張りギタ〳〵と痛む。こゝでも矢張り青年團などが水を配りに出てゐたが、光多の側へ來た時は、もう手桶が空であつた。

さしもに人を詰込んでゐた列車も、ガラリと空いて、其代りにプラットフォームは人で埋まつてゐる。屋根の上の人だけは其まゝ、高いところに、樂々と寢そべつてのんきさうに詩吟なんぞをやつてゐる若者がある。しかし其吟聲がどうやら哀愁の調子を帶びないではゐなかつた。流石にこの場合だから、たとへいかなる陽氣な者でも、矢張り悲調を帶びるであらうと、光多はしみ〴〵考へながら、ショパンの葬送曲を口のうちでやつてみた。

『さア、出ます。』と誰かの叫んだのが、一犬虛を吠えたやうに、一同の耳へ傳はつて、皆どや〳〵と周章てながら元の車室へ乘込んだが、五分……十分……なか〳〵列車は動かない。また〳〵一人下り二人下りしてプラットフォームは人でいっぱいになつた。けれども光多はもう下りなかつた。考へて見れば、自分の下車する大宮はこの次ぎで一里足らずだ。こゝからあの宿へ斜に行かれる道があるに違ひない。いッそこゝから其道を求めて歩かうか、さうすればたとへ五分間でも早く花枝に逢へるのだ。彼女も心配してゐるであらう……と光多は考へかけたが、不案內な土地を夜道して、迷へば何んにもないと思ひなほしつゝ、じつと發車を待つてゐた。これは後から考へての話しだが、この時若しも光多が、こゝから暗黒の里の道を歩るいてゐたら、殺されたかも知れなかつたのである。それは東京を燒いた惡漢が、この邊にも出沒するといふ虛傳が弘まつて、里人が道々を警戒し、通りかゝつた避難者でも荷物のないものは怪しまれて調べられた上、突き殺されたのもあつたからだ。――

汽車は漸く動き出した。大宮へ着くと、やれ〳〵安心だ、まアよかつたと勇み立つて、光多は足の痛みも忘れつゝ、森の蔭深くある宿へと辿り着いた。宿ではスッカリ燈火を消して、空屋のやうに靜まりかへつてゐた

俳句

內藤鳴雪選

題『入營』――三

○京城 一紅
入營や[illegible]もソット見送りて

○尙州 二瞥
洲に立ちて入營の舟見送りぬ

○龍山 熊舟
酒機嫌入營人を送りけり

○京城 右堂
入營や幟はためく日本晴れ

○京城 帝史
入營のこゝにも在るか幟立つ

○馬山 一耕
朝風に旗なびかせて入營す

○京城 盈二
入營を祝ふ旗にも霜の風

○京城 十字樓
入營の朝餉に盡きぬ物語り

○平壤 休山
入營や踏むも親しき畑の土

○京城 千波
入營や五分刈したる男振り

○京城 千大根
入營や堀り來し蕪の大なる

○仁川 龍峯
入營に母は五十の淚哉

しぶ茶川柳句稿（龍山）

太田黒野光郎選

『丁寧』

佳吟

丁寧にせんかと給仕叱られる　逸風
選擧前丈け丁寧な御挨拶　なか島
兒一人の內丁寧に育てられ　柳二
丁寧に手をつかへてる辨納め　閑々子
丁寧に算へて女房金を出し　十の字

秀逸

丁寧な返事に男言ひそびれ　赤鳥

島田赤鳥選

丁寧に算へて女房金を出し　十の字
勝の績は母丁寧に仕舞つとき　端羅漢
丁寧にせんかと給仕叱られる　逸風
丁寧に廻る年始が醉つて居る　齊原
丁寧に持つ盃の手がふるえ　野光郎
選擧前丈丁寧な御挨拶　なか島
丁寧に灰かきならしてる客　端羅漢
丁寧にしまつてる孤兒の證明書　辨天

佳吟

丁寧な辭儀に相手二度も下げ　衆念佛
試驗出だけ丁寧に植てあり　齊原
丁寧に手をつかへてる辨納め　閑々子
田舍者丁寧すぎて笑はれる　端羅漢

新刊紹介

▲高臺に登りて（島居政一氏著）著者は篤學で然も實踐躬行の人である許りでなく愛國の念に强いことは識者の既に諒知されてゐる處である爲に『日英米の現狀と帝國の將來』を著し我國民の覺醒に力むる所があつた今回又本書を公刊されたが收むる評論の外に紀行文あり偶感あり人物月旦あり時評あり、何れも人の意表に出で就中『齋公の晩年を偲びて』の一文の如き一の紀行文であるが新らしき材料を捉へて史實の上に一發見をなして居る是非一讀を江湖に推奬する（二圓五十錢大阪市南區上本町二大阪出版社）

▲國民としての常識（小林鶯里氏著）本書は國民として誰しもが心得てゐなければならない常識的事項を精選して編むだものである（四十四錢東京牛込區新小川町二ノ四文藝社）

▲連合支部の高田槇次郎氏宅は何處に在りますか尙同氏宅で歌留多の會は度々催されるでせうか（時節男）

△高田槇次郎氏は南米倉町に居られる勿論歡迎するでせう（係）

▲十八日夜九時過ぎ大和町二丁目の路上にて仁丹を御惠み下されし紳士に厚く御禮を申上げます（猿渡）

▲府內に短歌雜誌の樣なものを同好者間に御發行されて居れる所無きや（同好著生）

▲何處で發行の中學講義錄でもよろし全部御持の方は安く御讓り下さいませんか（咸北朱乙溫場上村）

▲石油瓦斯コンロを買ましたが火になつて臭くて使へません修繕する所はないでせうか（苑洞）

▲寥々たる京城の夜景を觀て『多枯れの淋れる窓に月冴て覆都を照らすかけの淋しさ』『多恨奈る年も暮りて後七日蠅かず觀』やまと魂（藤井好風）

▲京都に於て松竹キネマ時代劇封切り黄金座は何町でせうか（花外）

千代花香油

◀千代花香油の名譽回復▶

品質の純良を生命とする 千代花香油の眞價は普く認められました

今や日本內地は勿論、朝鮮・滿州・臺灣其他に於て、絕大の信用と最多の賣行とを有する一事は、眞に『正しき者の勝利』を物語つてをります

■當局の誤解　品質の純良を天下に公認せらるゝ我が千代花香油は、一時當局の誤解から、當地に於ける發賣を禁止されましたが幸ひ間もなく誤解が一掃されましたので、之が禁止を解かれ、却て千代花香油の品質純良を裏書される結果となりましたのは、所謂禍が轉じて福となつたやうな感があります左に其顛末の概要を報道して大方各位の御清鑑を仰ぎます。

■事件の發端　去る七月中、全羅南道光州郡光州西端南里在住の一內地人谷口某と呼ぶ老婆が同地の一商店で、千代花香油一瓶を買求めて使用した處、手先や顏面が痒くなり次第に腫れ上つたのを、千代花香油の惡作用であると誤信して、同地の警察署に訴へ出たのであります。

■試驗方法の失當　然るに警察署は老婆の症狀を一應醫師に診斷もせしめないで、同女の言ふが儘を信じて、その香油を道警察署へ廻送して、之が試驗を依賴しました。同署衞生課の一技手は、右香油中にパラフエニーレンヂアミンと呼ぶ有害物が存在するのではないかとの疑問をもつて、其有無の試驗を致しました。しかし、其試驗方法は甚だ失當で嚴密な科學的基礎の上に立つてゐなかつたのであります。今其具體的例示をすれば「雪は白い、鹽も白い。故に鹽は雪と同質のものである」といふやうな方法であつたのは實に殘念であります。そしてパラフエニーレンヂアミンの有無を決する上に絕對的必要な昇華試驗を怠つてゐました。隨つて其試驗は全く無價値のものであつたに拘はらず前記の如き薄弱な試驗のみに依つてパラフエニーレンヂアミンを含有するものと決定してしまひました。そして、道に於て、之が發賣を禁止すると共に其旨を他の各道にも通牒しましたので、各道では殆んど附和雷同的に之が發賣禁止を命ずることになつたのであります。

しかし、弊舖は我が千代花香油に秋毫も疚しい所の無い事を確信致しますので直ちに之を東京衞生試驗所に送つて、パラフエニーレンヂアミンの有無に就いて試驗を依賴しました處同所では最も權威ある試驗方法を以て別紙の如く「千代花香油は衞生上無害にしてパラフエニーレンヂアミンを含有せず」との證明を與へられました。これで千代花香油は全く冤罪を霽いて青天白日の身となつた譯でありますが、朝鮮に於ける不當な禁止を解く爲め、去る十一月中に前記證明書を携へて再び渡鮮し、各道の衞生課に對し、各道に禁止の當時殘存せる千代花香油（朝鮮在荷品）に就いて再試驗を申請しました處、遂に正しき者の勝利となつて、千代花香油は絕對に斯くの如き危險物を含有せざる事を確認されたのであります。されば彼の老婆の中毒一件と千代花香油との間には、全く關係のない事も判明して、茲に朝鮮全道に亘る發賣禁止を解かれる事となつたのであります。要するに千代花香油は一技手の粗忽から、思はぬ濡衣を着せられたのであります。

■製品の一樣　最後に附け加へて置きたいと思ひます事は千代花香油の製品は職人にせよ瓶入にせよ、その品質は皆一樣であるといふ事であります。千代花香油は毎日同一工場で、專任技師の手によつて配合されてをり、出來上つた品は注文順によつて日本內地、朝鮮、滿洲、臺灣及び其他の地方に發送されてゐるのでありますから、朝鮮に於ける品も內地に於ける品も絕對に變りやうがない筈です。ですから、朝鮮に中毒者があつたとすれば、內地に於ても頻々として中毒者が出ずる譯になります。然るに、我が千代花香油は發賣以來十數年の歷史を有するに拘はらず、未だ曾て斯くの如き中毒者を出した例がないのであります。此一事によつてみても千代花香油の絕對に安全である事が判るのであります。

本舖 東京 日本橋區馬喰町 山岸三之助商店

御贈答 御正月用 に大好評

●清酒●

發賣以來大好評と賞讃と共に數十樽を賣盡し殘品僅少となりました賣り切れぬ內に至急御注文願ひます市內は迅速配達致します

品質優秀 特撰

新酒正味一斗入 金十五圓五十錢

金千代

ロアタリの良い何とも云へぬ金千代の味ひは一度御試しを願はねば御分りになりません トテモ〳〵筆紙の盡す所ではありません

合資會社 京城日報社代理部 電話光化門 四四〇〇番 四四〇五番

价川輕便鐵道

大正十二年七月一日改正

新安州、安州、北松里、价川 ほか（時刻 [illegible]）

朝鮮平安南道价川郡見龍里

驚クベキ特効藥

酸素丸

[illegible]

腎臟病、心臟病、神經衰弱、ヒステリー、子宮病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、睾丸の病、慢性淋病、慢性消渴、尿道狹窄、月經時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛、常習的肩の凝り、眩暈又は便秘、產後の諸病、貧血、衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腸の病、バセードー氏病

[illegible]

酸素丸本舖 南滿洲本溪湖 中西亮 振替大連三四五三番

經驗ある助手入用 一誠齒科醫院 平壤本町 電話五五〇番

ウオタマン萬年筆著荷 京城本町一丁目 眞繼商店

京城日報

（朝夕刊合せて十頁）

本紙定價　一ケ月金壹圓二十錢　六ケ月同六圓五十錢　一ケ年同十二圓　郵税共
廣告料　五號一行金壹圓　特別同二圓　七號活字一行同八十錢
發行兼編輯人　泥谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話光化門　番　長　番　振替京城三〇〇番

侍從長御趣旨傳達
内閣總辭表提出につき

【東京電報】[illegible]入江侍從長は二十八日午後八時三十分[illegible]に依り之が[illegible]を沼津に在る[illegible]に陳べると共に[illegible]の爲め二十七日午後十[illegible]沼津に歸つた

畏れ多き事から
其儀に及ばずとの
優諚降下せん
但し直接責任者は辭職か

【東京電報】山本首相[illegible]攝政殿下に辭表の[illegible]に對する御沙汰の如何は二十八日西園寺公が[illegible]に御下問となり其結果入江侍從長の[illegible]を待ち遲くも廿九日中に山本首相[illegible]攝政殿下より何分の[illegible]を[illegible]中にても[illegible]に就き政府が辭表を捧呈するは當然の事なるも之が爲に內閣の更迭を見るが如き事ありては議會開會中と云ひ且は[illegible]を控へ居るより時機に成るべく穩便なる解決を希望し居る向もあるより或は當面直接の責任者のみの掛冠はあるべきも山本首相以下閣僚に對しては其儀に及ばずとの優諚降下さるゝものと觀測さる

不敬事件に關し
山本首相の聲明
衆議院本會議に於て

【東京電報】衆議院本會議に於て山本首相は左の如く聲明せり

本日の出來事に關しては全く恐懼に堪へませぬ一應謹んで諸君に御報告申し上げます本日午前十時四十五分攝政宮殿下が議會開院式に[illegible]られた際一壯漢が[illegible]銃を[illegible]し[illegible]たるも殿下には全く御安泰に渡らせられ其後開院式に臨ませられ滯りなく式を了へさせられました云々」

内相のみ辭職御聽許か

【東京電報】二十八日山本首相に對し後藤內相を除く閣員の辭表につき其儀に及ばずとの御諚あるべく後藤內相のみは此際辭職御聽許あるべしと

第四十八帝國議會
貴族院本會議
天機並に御機嫌奉伺

【東京電報】二十八日の貴族院は午前十時二十分開議徳川議長より昨日天機並に御機嫌を奉伺した旨を報告し次いで勅語奉答文を朗讀し滿場起立可決此の時黒田侯の動議に依り日程を變更し院議を以て天機並御機嫌を奉伺することゝし

黒田侯（登壇）攝政殿下御不慮に御遭遇遊ばされたるは恐懼の至りに堪へず幸に神明の加護により些の御障もあらせられず寔に歡喜措く能はざる所である玆に謹しんで天機並に皇后、攝政宮殿下の御機嫌を奉伺したいと思ふのであります何卒諸君の御賛成あらん事を希望します

と述べ滿場起立にて可決議長は之より直に參內する旨を告げ十時二十五分休憩

奉答文

【東京電報】貴族院の奉答文左の如し

貴族院議長臣徳川家達謹ミテ恐懼恐惶謹テ叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス

第四十八回帝國議會ノ開會ニ際シ玆ニ盛典ヲ擧ケサセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ臣等謹テ聖旨ヲ奉體シ愼重審議協贊ノ任ヲ竭シ以テ事獻ヲ賛襄セムコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至リニ堪ヘス謹テ奉答ス

衆議院本會議
—全院委員長選擧—

【東京電報】衆議院は二十八日午前十時三十分開會山本内閣總辭表提出のため各政黨の態度は政局の豫行詮議で持ち切つてゐる、粕谷議長參內の爲め松田副議長代つて議長席に着き諸般の報告ありて議事に入り全院委員長選擧[illegible]無記名點呼にて[illegible]投票總數二百三十四[illegible]

一五〇票　[illegible]保太郎（政）
八三票　[illegible]
一票　宮村鐵之助
二票（革）
（政）

議長の富安氏の當選を宣し次ぎに常任委員の選擧は其結果を議長に報告する事とし十一時休憩

攝政殿下沼津
行啓御取止

【東京電報】廿八日攝政宮殿下沼津行啓は御取止めとなつた政務多端の際とて外には何等理由ないと

首相參内

【東京電報】山本首相は二十八日午前八時四十分赤坂離宮に參內し九時十分退出したが右は攝政宮殿下に對する御機嫌奉伺の爲めと察せらる

再び參内

【東京電報】二十八日の閣議は午前九時五十分終了後各大臣は議會に赴いたが山本首相は再び赤坂離宮に參內した

後藤内相參内

【東京電報】後藤內相は廿七日午後四時二十分閣議中に赤坂離宮に參內何事か奏上したるが內相は恐懼措く能はずとなし從つて辭意堅く例へ攝政宮殿下より其儀に及ばずとの優諚下るも絕對辭職すべしと傳へらる

各大臣首相官
邸に參集

【東京電報】山本首相は二十八日午前九時十分赤坂離宮より首相官邸に歸るや直に犬養遞相を先頭に井上藏相岡野文相の順にて續々首相官邸に集りつゝあり閣議は各大臣の顏揃ひを待つて開かるべし

兩殿下天機御
機嫌奉伺

李王李王妃殿下には二十七日攝政宮殿下に不慮の事故あり[illegible]き恐懼せられ天皇、皇后兩陛下並に攝政宮殿下に對し奉り天機並に御機嫌を奉伺方を總督に申し出られ總督は廿七日午後五時直に宮內大臣及東宮大夫宛[illegible]

總督天機御機
嫌奉伺

齋藤總督は廿七日攝政宮殿下に不慮の事變ありし趣き承はり恐懼謹んで同日午後五時宮內大臣宛天皇皇后兩陛下に對し奉り天機並に御機嫌を奉伺したに續いて東宮大夫宛攝政宮殿下にも同樣御機嫌を奉伺した

李侯御見舞
と傳達

李二用侯は廿八日攝政宮殿下に對し奉り不慮の事故ありしを承はり廿八日午前十一時總督に[illegible]御見舞あり總督は其旨を宮內大臣に傳達した

御用納式
中村檢事長挨拶
總督の答辭

總督府御用納め式は二十八日午前十一時三十分本府第二會議室に於て職員先づ高等官一同を代表し中村檢事長總督に對して『本年も無事に終了したる旨』の挨拶を述べ、これに對して總督より『本年も無事に終りたるは諸君の努力の結果に外ならぬ、明年も一層奮闘して貰ひたい』との挨拶あり之にて式を終り續いて各局部でも同樣夫々一堂に會して御用納め式を擧行した

府廳御用納

京城府廳にては二十八日午後一時[illegible]部を集め御用納め式を行ひ谷府尹より一場の挨拶があつた

陞叙陞級

十二月二十七日付を以て左の如く發令があつた

陞敍高等官二等（各通）
本府水原高等農林學校教授　[illegible]
本府事務官　山内　[illegible]
本府京城高等工業學校教授兼本府中央試驗所技師　更田　信[illegible]
本府道事務官兼本府中樞院書記官　陶山武二郎
通譯官　[illegible]
同中央試驗所技師　藤本　[illegible]
本府檢事　田中米太郎
同事務官　朴　容九
本府勸業模範場技師　三原　[illegible]
同事務官兼本府參事官　大西　一郎
同水原高等農林學校教授　[illegible]
同道事務官　宮崎又治郎
同事務官兼本府監察官　伊藤　四雄
同　渡邊豐日子

陞敍高等官三等（各通）
朝鮮公立高等學校長　松村　[illegible]
本府裁判所通譯官　清水　三男
本府判事　木村　[illegible]
同　渡邊勇次郎
同　千綿　[illegible]
同　鈴木　[illegible]
同檢事　川崎　[illegible]
同　深江　[illegible]
本府判事　山中　[illegible]
同　竹村　[illegible]
同　藤[illegible]
同　小出　[illegible]
同　稻田　[illegible]
同判事　石橋　[illegible]
同　瀧　[illegible]
同郡守　[illegible]
同　[illegible]
同　張　[illegible]
同　沈　[illegible]
同　金　[illegible]
同　崔　[illegible]
同　李　[illegible]
同　橋本　[illegible]
同　今　[illegible]
同技師　佐[illegible]

本府京城醫學專門學校教授　猪川　[illegible]
同京城醫學專門學校教授　[illegible]
兼本府醫院技師　總光　[illegible]
本府醫院技師兼本府京城醫學專門學校教授　小林晴治郎
本府道尹　中島　[illegible]
同檢事　玉名　友彦
同　山澤佐一郎
同判事　[illegible]
同　本島　文市
同　[illegible]
本府道事務官　武井　秀吉
同　兒玉　[illegible]
同技師　石坂　[illegible]
同　阪場寬一郎

陞敍高等官四等（各通）
本府典獄　吉野　[illegible]
同　瀬平田[illegible]
同判事　[illegible]
同檢事　[illegible]
同　閔　丙[illegible]
本府道技師兼本府道技師　[illegible]
朝鮮公立[illegible]學校長　高橋　榮[illegible]
兼教諭　佐々木清之丞
本府中學校教諭　[illegible]
本府郡守　李　宜[illegible]

本府鐵道技師　[illegible]
本府技師　[illegible]
同郡守　張　[illegible]
同　金　東[illegible]
同　鳥野末太郎
同技師　桑原　[illegible]
同　井上　俊治
同　清水　[illegible]
本府高等普通學校教諭　中野與右衛門
同道事務官　田口　[illegible]
同　石本　[illegible]
本府道事務官　佐々木忠右衛門
同　立岩　[illegible]
同判事　花村　[illegible]
同　藤村　[illegible]
本府警視兼本府京城高等[illegible]
工業學校教授　高[illegible]

陞敍高等官五等（各通）
本府高等普通學校教諭　高橋　虎[illegible]
本府道技師　[illegible]谷與七郎
同　土岐　[illegible]
同道技師　宇田　[illegible]
同　油布　[illegible]
本府道技師兼本府道技師　神宮與太郎

本府郡守　井上八重二
同　尹　[illegible]
同　李　[illegible]
本府病院醫官　李　[illegible]
同　全　[illegible]
同郡守　李　[illegible]
同　崔　[illegible]
同　[illegible]
本府道技師　村田　常一
本府道理事官　北條　源助
本府道[illegible]醫官　落合　[illegible]
本府技師　西川　[illegible]
同道技師　曾戶　[illegible]
同　黑田　[illegible]
同　木下　[illegible]
同通譯官　福島　[illegible]
同道技師　小賀[illegible]

朝鮮公立高等女學校長　渡部[illegible]
兼同教諭
本府中學校教諭　大井　[illegible]

陞敍高等官六等（各通）
本府郡守　金　[illegible]
同府理事官　金　[illegible]
同郡守　金　光[illegible]

陞敍高等官七等（各通）
朝鮮[illegible]技師　田中十三男

同　土木技師　原田[illegible]
陞シテ高等官五等ヲ以テ待遇セラル（各通）
朝鮮[illegible]技師　木下　米市
同　岡戶　[illegible]
同　高良　武弘
同　尾崎　由馬
同　三木　[illegible]
同　樋口[illegible]太郎
同　伊藤　俊一
陞シテ高等官六等ヲ以テ待遇セラル（各通）
本府技師　鈴木　[illegible]
任本府道技師
敍高等官一等
本府道[illegible]兼[illegible]技師　近石　[illegible]
敍高等官六等
本府林業試驗場技手　高橋喜七郎
任本府道技師
敍高等官七等
京畿道在勤ヲ命ス
任朝鮮[illegible]技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
京畿道[illegible]技師ニ補ス
（以下欄外に續く）
高橋喜七郎

多事多端な大正十二年
吾等國民は一大決心と
一大自覺を以て國家を泰山の
安きに置くべく努力せねばならぬ
—齋藤總督語る—

大正十二年もいよ〳〵暮れる譯である。この歳晩に際して別に纏まつた感想と云ふやうなものは自分は何等持つては居らない、然し大正十二年は可なりに出來事の多かつた歳である。要するに

多事多端な歳であ

つた世界の大勢など云ふことは一口に言ふのは不可能だが世界を通じての大勢を强ひて言ふならば改造途上にある當然の經過すべき過程であるか知らぬが、混沌の繼續と反動の襲來とであつたやうな感がする。戰後五年にして改善未だ成らずなどと云ふけれども、成らざるは寧ろ當然で寧ろ悲觀し批難すべきことではあるまい。ウヰンナ條約後の歐洲でさへ安定を得るまでには十年を要したではないか斯くの如き擾い

世界の大勢から見

れば比較的小さい問題であるかは知れぬが日本に取りては關東地方大震災の復興問題があり更に二十八日第四十八帝國議會開院式の當日に於ける攝政宮殿下に對し奉る未曾有の不敬事件に直面した譯である。吾等帝國臣民は擧げて誠に恐懼措く能はざる處である。この一年間に於て朝鮮としては西鮮地方の水害を除いては幸いにも何事も無かつたのは

同慶の至り

に堪へない、震災に於ける罹災鮮人の死亡行方不明等が三千とか四千とか如何にも大袈裟に傳へられたのであつたが、これも當局では其後調力調査中であるが死亡行方は今迄のところ千名足らずである。しかし是等罹災鮮人は氣の毒な次第である又攝政宮殿下に對し奉る不敬事件の內容に關しては犯人は逮捕されたと聞く以外にはまだ何等公電に接してゐない、だが

傳ふる如く

主義者とか共產黨に關係を有するものだとするとお互に帝國の臣民は一大覺悟を要する時であると信ずる。今日に於ける是等主義者に對する日本の取締方法は甚だ手緩いやうな感がするのである。米國の如きはこの方面に對しては至つて徹底であるかに思はれるかも知らぬが寧ろ至つて峻嚴を極め、恐く國外に放逐するなり其他の方法を徹底的にやつてゐるやうである。この點にゆくと英國はさうでもないらしい。日本でも是等過激思想者に對する

取締法案と

云ふものが一昨年の議會に提案だけされたのであつたが其實現の出來ぬことゝなつてゐる、若しもせめて取締法規が出て居れば今回の一大不祥事も未然に防遏されたであらう。何分にも現在の情勢は接壤地であるお隣の露西亞ではボルシエヴイズムの宣傳に努め、日本の帝國主義を排撃する爲めに或は大會を開いたり決議したり宣言したり爲めに多數の實行員が費用を投じて働いてゐるとも傳へられてゐるから、自然何等かの

影響を受く

ることゝなりはすまいか、また吾々が甚だ危險であり惡化したものであるとすることの主義なり思想なりを危險でもない惡化でもないと感ずるやうな者の數を增すかも知れぬ。彼此を思ひ日本の將來に想到する時は吾等國民は一大決心と一大自覺とを以て今にして邦家をして泰山の安きに置く策を樹てねばならぬ。云々

不敬事件と各政黨の態度
政友會は飽迄内閣總辭職を主張す
革新倶樂部は政爭の具に供するを好まず

【東京支局特電】不敬事件を中心として政局は極度の不安と動搖とを來して居る、衆議院各派の態度を見るに政友會は斯かる未曾有の不祥事突發したるは內閣の責任にして若內閣にして總辭職を決行せざるが如き事あらば將來國民思想に及ぼす惡影響の恐るべきものあり且內閣の眞實に對する責任上惡例を貽すものなりとして極力總辭職決行を主張しつゝある次に憲政會は今回の事件を政爭の具に供するを好まず內閣大臣、警視總監以下直接關係ある當路の引責を以て一日も早く時局と民心の安定を圖るにしかずとなし次に革新俱樂部は不逞漢と關係ある代議士が同俱樂部に屬するを以て頗る遺憾とするのみ總辭職を强硬に主張し居らず

川上人見兩理事辭職説

【東京電報】今回石塚總裁辭任に付り政友會は林市藏氏官房長大久保利武氏石塚前總裁は川上理事を夫々推したが政府側で復興院廢止の關係から氏を東拓に入れる事にしたものであらう夫れに付いて川上理事入見理事等は石塚氏と進退を共にすると云ふ噂で辭任を申し出たさうであるが夫れが果して一應の形式に止まるか或は事實に現れるか今の處不明である

東拓總裁任命

【東京電報】東拓總裁の後任は二十七日の閣議にて決定二十八日附左の通り發表ありたり

依願免本官　[illegible]　宮尾舜治

任東洋拓殖株式會社總裁　宮尾舜治

宮尾氏は新
領土通

【東京電報】今回東拓總裁となつた宮尾舜治氏は明治元年生れで明治二十九年東大法科を出で臺灣總督府殖產局長、拓殖局部長、同第一部長、關東都督府民政長官、北海道長官等を歷任し頗る新領土通である

大學豫科募集
一月十日頃迄に發表

朝鮮帝國大學附屬豫科開校準備は總督府學務局に於て着々進行中なりしが愈々入學試驗期も差迫り此頃愈同大學豫科事務所を學務局內に設置し明年一月十日頃迄に入學試驗期日試驗學科目等內地及朝鮮官報を以て發表せらるゝ由にて玆に年來の翹望たる朝鮮に於ける大學教育も愈實現する事となり今回は開校第一回の入學試驗なれば內鮮各地より入學志願者多數に上る見込なり

朝鐵社長互選延期

朝鮮鐵道社長及び常務取締役二名は二十六日重役會に於て互選を爲す筈なりしも都合により延期したる旨本社に入電ありたり

鮮銀人事異動

朝鮮銀行にては今回左の通り異動ありたり

大連支店支配人　向井　忠
旅順出張所支配人兼務
旅順出張所支配人　竹本　[illegible]
東京支店總務課調査役

府市街地税類別

府令第二條の改正に伴ひ市街地税二圓未滿は一期に、二圓以上は二期に納附する事になつたが京城府內に於ける市街地税納額別の人員を見るに內地人の二圓未滿は七百十二人で二圓以上は二千五百五人計三千二百十七人で、朝鮮人の二圓未滿は九千九百六十七人計一萬九千九百十八人二圓以上は九千九百八十八人、外國人の二圓未滿は九十五人で外國人の二圓未滿は九人二圓以上二百三十三人計二百四十二人合計二圓未滿の納税者は九千八百十九人二圓以上一萬二千七百五人總計二萬二千五百二十四人である而して市街地税は地價の千分の九、五であると

(以上十二月二十六日附)
總務部長　佐藤得四郎
依願解職
（十二月二十七日附）
營繕課長　小野　二郎
依願解職
（十二月二十四日附）

鹿兒島琉球線不通

十七日鹿兒島琉球線電信不通となり此頃鹿兒島郡と沖繩縣の一圓の發著電報は當分總督經由其他は郵送のことゝなつた

政友委員長内定

【東京電報】政友會では衆議院の全院委員長常任委員長を左の如く內定した

全院委員長　富安保太郎
豫算委員長　野田卯太郎
（若くは元田肇）
決算委員長　加藤重三郎
請願委員長　西村　正則
懲罰委員長　野副　重一

兩公に經過報告
不敬事件につき

【東京電報】內閣總理大臣官房加藤秘書官は山本首相代理として二十七日午後八時十五分東京驛發下沼津に在中の西園寺松方兩公を訪問し今回の不敬事件につき全閣員辭表提出の經過報告を爲した

・本月對外貿易
・入超二千六百萬

【東京電報】大藏省發表に係る十二月中廿五日迄の對外貿易は輸出一億千五十七萬八千圓輸入一億三千六百七十二萬一千圓差引入超二千六百十四萬三千圓にして一月以降の累計入超五億三千四百四十萬一千圓なりと

京畿農事講習會

京畿道では多の農閑期を利用して各郡の農事獎勵會をして短期間の農事講習會を開催せしめつゝあるが本年度は十一月から明年三月末迄二十箇郡に於て約七百名の講習生を集め實施する計畫である而してこれ等講習生の數は明治四十四年以來昨年までに八千百十一名の多きに達し何れも郷黨の指導者として活動しつゝありと

延吉鎭守使著發

廿八日午後六時三十分安東驛發列車にて吉林延吉鎭守使吉興氏參謀等外五名は廿八日朝入城議長總督府を訪問し同夜發列車にて吉林に向つて延吉に向つた

人事消息

▲篠田李王職次官　王世子殿下御出迎のため二十八日午前十時京城驛發列車で下關へ
▲矢島昌德宮署長　同上
▲丸山警務局長　李王世子殿下御迎への爲め二十九日午前十時列車にて出發釜山へ
▲田中監察官　二十八日夕出發九州島原温泉へ
▲矢島社會課長　同上
▲兒島參事官　同上
▲水口理財課長　三十一日出發東萊へ向ふ筈
▲潮田外事課長　二十八日夕出發東京へ
▲西澤義長氏（安東領事）二十八日朝入城朝鮮ホテルへ

茶話

大同橋の渡初式に渡初をする事になつてゐた三夫婦の中、一番下の妻夫が玉の如き男の子を分娩したので、お目出度いことだから結構だといつて二夫婦丈で式をすました、而して渡初式に臨席した總督は金一封を贈り自名付け親となつて大同を命名したのであつた、ところが、この渡初式に加はつた夫婦中の康內玉といふ者の息子の嫁がこの提灯張り男の子を安產したので、總督にどうか名付けの親になつて貰ひたいと廿八日申出た、こんどは何と命名されるかしら、總督も却々お忙しいことだ。

○歐洲使節々風。○喫苦飽酸心半灰。
○登庭爲問邏邦事。○熱腸非常慨節哉
祝守屋榮夫氏歐米還朝　小坂韓準錫

氣象日報（廿八日）

廿八日朝大陸高氣壓は支那北部に發達して其示度は七百八十四粍を示し朝鮮も亦其圈内にある、南岸は暴天其他は晴天で北西風が流行し海岸は風勢强く溫度は昨朝に比し五度內外低い二十九日京城は晴れで寒くなるだらう

天氣豫報（廿九日）

北西の風　晴

廿八日正午	攝氏	零下七度一
	華氏	一九度二
廿七日最低	攝氏	零下一四度二
	華氏	二四度四

◀小學生必讀の雜誌新年號發賣▶

學習雜誌　小學五年生
◇新年特別號（十二月十三日發賣）本號に限り定價五十錢

學習雜誌　小學六年生
◇新年特別號（十二月十三日發賣）本號に限り定價五十錢

入學準備　學習算術
◇十二月十八日發賣（六年生の部、六年生の部）各定價七十五錢

發行所　東京市神田區錦町三丁目　小學館　振替東京四五一〇一七番

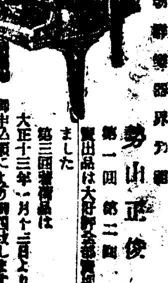
十二月十日より同三十一日迄
■正札付履物大賣出し
安く仕入れた品が澤山ありますから此際履物はよろづやでお買ひ下さい
本町四丁目　電車終點　よろづや

大正拾三年
米價大勢觀
並に各月の高低豫想
特價十圓
▲弊所は社會奉仕の爲め十一月初めに於て「米價の大勢と目先觀」を公表したる所著々と悉く的中し其豫言を實驗せる數千の人々より其煩酬に暇なく爲めに此度前記の米價大勢觀を著はし聊か學見を公表して應酬することゝせり
▲來年は一元六十年の始めなる甲子の歲に屬し經事更新の意あるを以て米界も亦空前の大劇變を現出し未曾有の大相場を出現すべき機運あり
▲來年中の米價は何時天井し何時底入すべきや買時賣時又は賣時買時の時機は何時乎等の買賣要所は勿論各月に於ける高低豫想を利益に判斷し月を追ひ々詳細に明示せり
▲來年中には强氣の乘ずべき大機會は必らず二三回あり又賣方の乘ずべき大機會も必らず二三回有るべし其高下變化の劇烈なる肉躍り血湧くの感あるべし此の如き大機會は何月頃と何月頃にあるべきや弊所は多年研究の結果一々推究し細大略なく豫言を詳細に明示せり只一回の大機會を知るのみにて大に米價に對する千金の價値あり
▲弊所の米價研究は一種獨特の腕を有し決して他の追隨を許さゞるもの有り未だ弊所獨特の手腕を知らざる人々は此の權威ある一大豫言書を申込の上其當否を御實驗あらんことを祈る
大阪市北區三丁目井池筋東入（電話本局一七五〇）
米價研究所

新校舍落成に付一月八日より同所に於て授業を開始す
但相馬學長邸の假事務所は十二月二十九日より新校舍內に復歸す
東京神田今川小路　專修大學

歸鄕中に付年末年始欠禮仕候
京城本町二丁目　田中友吉

旅行中に付年末年始の禮を缺ぐ
京城日出町十三　志岐信太郎

世界的大楽器
小形ピアノ
於朝鮮樂器界の覇勢山正使

寸五尺二高　分三寸五尺二巾
（價格御注意）
定價　八百九十圓
米國直輸入元　セヤマ洋樂器店
京城鍾路大通り（鍾路警察署前）
電話光化門133番　振替京城1075番
第三回賣出品は大正十三年一月十三日より御申込順により御渡し致します
定價　金百二十圓
特別價　金五圓
賣出品は大阪府全部賣約しました

攝政宮御機嫌麗し
其の日午後から兩宮殿下と共にテニスに打興じ給ふ

同日直に議會開院式に臨まれて泰山の安きを示され兩院議員を感激せしめられ攝政殿下には軈て式を終るや多數の憲兵警官の警戒裡に沿道の忠良なる群衆に一々御挙手の禮を給ひつゝ十一時五十分御滿悦に赤坂離宮に還啓あらせられた同日午後は久邇宮邸を初め在京各宮殿下二時には秩父、高松兩宮殿下の伺候あり山本首相初め各大臣東郷元帥浦田侍從長以下諸大官の御見舞あり殿下の御動靜に就き戸田東宮侍從は語る

『殿下には還啓後も平常と御變りは無く御機嫌麗はしく晝餐を召され秩父宮と江田島より御歸りの高松宮兩殿下久方振りの御物語に興ぜられ又入江侍從長の負傷も傳へられたが全く御傷だに負つて居ないと』

同殿下には此の日午後二時秩父高松兩宮殿下と共に純白のユニホーム凛々しく運動場に出でられ兩宮及侍從を御相手にテニスの遊戯に興ぜられて餘裕綽々たる態度を示された（東京電報）

殿下宮中御參內より御歸の御召車の左右兩側にオートバイを附する事になつた（東京電報）

各大臣御見舞

山本首相以下各大臣は二十七日午後三時赤坂離宮に伺候し攝政殿下に拜謁の上御見舞の言葉を言上した（東京電報）

良子女王の立派な御態度
御書見中に例のお知らせ 少しもお取亂しがない

良子女王殿下が攝政宮殿下の御難事を御聞き遊ばされたのは午前十一時十分頃であつた女王には十時半議會の開院式に臨ませらるゝ父宮殿下を送られて大奥の一室で御靜かに御讀書を遊ばされてゐた、すると午前十一時を過ぐる頃慌たゞしく電話の鈴が鳴つた『皇太子殿下の御附武官だが大至急事務官の方を』と云ふ何事かと急いで野村事務官が受話機を耳にあてると其事を簡單に言つて『良子女王殿下に宜しく御傳へを』と電話は切れた野村事務官は驚いて御書見中の女王に申上げるとさつと御色を變へさせられたが『お障りもない』と仰せられて御取亂しの事もなく御見舞言上の事を仰出され御附の女官方と何とかお話を交され其御態度の御立派さ平素の御心懸けの程も偲ばれて御傍の人々も皆涙に咽んだ（東京電報）

鹵簿の御警衛 嚴重となる

不敬事件に就き宮內省にては內務省と緊急協議の結果御警衛方法を嚴重とするに決し二十八日攝政宮

湯淺總監 一室で謹愼

事件は突發の日湯淺總監は一時衷心の態度で其責任の重大を思ひ辭表を提出すると共に總監室に閉籠つた儘犯人取調べの經過を聞く外一切の面會を避け机に寄り掛つた儘沈思謹愼の意を表してゐたが今夜八時半新聞記者團を招き涙を湛へつゝ『事件に就ては申し譯の言葉もない勿論一身の始末は覺悟してゐる何卒此の心中を察して貰ひたい』と聲涙共に下つた尚湯淺總監は自室に一夜を明す爲め寢臺を持ち込み只管謹愼の意を表す一方に事件の眞相を極めてゐる（東京電報）

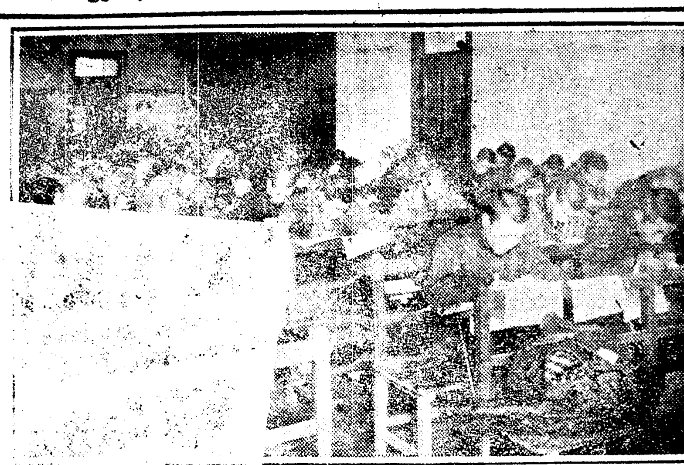
難波代議士が突然辭職した
郷里に歸つて謹愼

難波代議士は目下鎌倉にあるが今回某事件に關し辭職し郷里に歸つて謹愼するとの事である（東京電報）

普選反對 難波氏の政見

同氏は慶應元年五月周防國熊毛郡周防村生れ、東京、難波覃庵の門に遊び、周防村長となり村會議員、熊毛郡會員同參事會員、山口縣會議員、同參事會員に擧げられ、又防長米同業組合熊毛郡支部長、熊毛郡農會長、株式會社防長農工銀行監査役で現に同所の取締役である

難波代議士は二十五日郷里山口縣熊毛郡周防村に歸郷して目下不在であるが同代議士の長男は法學士で目下久原に勤めて居り又二男も法學士で三菱に勤めてゐる尚難波氏は普選反對論者である（東京電報）



專門學校入學の模擬試驗 京城高等豫備校の主催で二十七、八の二日間黄金町の貴族會館で擧行された出席者百五十名何れも眞劍になつて答案用紙に鉛筆を走らせて居た、結果は明春に入つて發表。

大飛行船 依然不明 政府も諦めた

【巴里二十七日發電】フランス大[illegible]

飛行船ディクスミュード號は五十名の乘組員を乘せ十日伊地中海及チュニスを越え耐久飛行の爲め出發し去る土曜日全く操縱の自由を失ひ海峡で必死の努力をして居つた旨報道せられたが其後消息なく佛國政府も同機が安全なりとの希望を抛かねばならぬやうになつた同機が沙漠上に吹き飛ばされたか沙漠上に吹き流されたか不明である英佛伊三國軍艦及水上飛行機が海上に捜査したが何等手掛かりなく驚兵及陸上飛行機は沙漠を捜査したが失敗に終つた

王世子殿下の御警衛は嚴重
[illegible]件の突發から[illegible]に方針が變つた

[illegible]就もがらりと一變し從前は勿論御旅館たる德壽宮或は昌德宮總督府の內外を水も洩らさぬ警戒取締を行ふので府內各署では御到京まで不眠不休の狀態で警部巡査を要所々々に配置して萬一の場合に備ふべく既に編成を終つて居る

內相邸を襲うた暴漢は廿餘名
『赤化防止團』と大書した白襷をかけて居た

朝刊一部所報＝二十七日午後四時三十分赤化防止團と稱する二十數名の壯漢が二臺の自動車に分乘し麻布區櫻田町の後藤新平子邸に闖入し表玄關の硝子戸二枚を破壞し戸襖六枚を破り泥の御靴で其他手當りまかせに暴行を働き何處ともなく引揚げた家人の語る處に依れば壯漢等は全部白襷を掛け赤化防止團と大書した自動車に身を投じ引揚に際し『夜分に又襲撃する』との捨台詞を殘し立ち去つたとの事で急報に依り六本木署より署長以下全員駈付けしも此時既に一團は引揚た時であつた其後犯人搜査の爲め全市に亘り大活動を開始し子爵邸附近は麻布警察官を以て警戒に努め恰も戒嚴令下にある如く物々しい光景を呈した（東京電報）

小樽大火
百餘戸全燒 二名燒死す

廿七日午前五時小樽市稻穗町西區三番地番屋青木留三郎方より出火強風に煽られ百餘戸を燒き拂ひ同六時鎭火したが青木方の幼婦二名は燒死した、損害約十五萬圓（小樽電報）

精神病院燒く 十五名燒死

【市俄古二十七日發電】肺結核及精神病患者六百名を收容せる病院火災に罹り十五名は燒死した

醉つて暴行

府內長沙洞居住京城組換子吉田北太郎（三〇）は廿七日午後九時頃南大門通り三丁目南大門警察前で泥醉の上通行中の高陽郡漢芝面新堂里の金明洪（三〇）を引捕へて喧嘩を吹きかけ暴行を働いて居る處を巡査が鎭めても聞き入れず本町署に拘引された

笑ふも泣くもあと三日
愈よ押詰つた暮の世相
客の渦を卷く本町筋の各商店 さて本當の景氣は何うか

打ち續く財界の不況に振古未曾有の關東一帶の大震火災朝鮮もその煽りを食つてドン底の不況であらうと噂さるゝ大正十二年も剩す處あと三日の後に迫つた一時金融梗塞の爲め二進も三進もならぬ處まで漕ぎつけて市民大會の開催となり東上委員の活躍とまでなつたが市況は師走に入ると共に多少の活氣を帶び殊に二十日賞與金の入手と共に街々は蘇生の喜びに滿ち慰り商店と云ふ商店會社と云ふ會社は公休日も廢して本年掉尾の商戰を開始した

京城府廳の練瓦壁には曰く『三越の歲の市』曰く『本町二丁目聯合大賣出し』曰く『丸一の本年掉尾の大賣出し』曰く何々と

府廳町の大通は左から右へ右から左へ車馬荷車人車の往き來繁く腕に背の徽章を卷いた交通巡査は巧みに通行人を制してゐる、篠崎商店前本町の一丁目の入口には本町一丁目の聯合大賣出しの塔が立つてゐる、紅白の彩り眩しく之れから右側には滿艦飾を施した各商店と左側に本年掉尾の活躍をする露店がずらり

所狹いまでに全京城の商機場を玆に縮寫したかと思はるゝまでに五色の色彩を添えた立看板が立つてゐる、その間に一際高い看板に勤儉節約と云ふのがある他の總てが購買心を煽り立てるのに此は異な事とよく／＼見ればドの方に京城府とあり京城府財務課の納稅督促のビラである

見切品を漁る裏店のかみさん
疲れ切つた彼女の面には悲しい諦めがあつた

百貨店平田の扉を排すると家具部から洋靴、小間物、階上の家具部まで押し合揉み合、顧客の大多數から足の爪先まで光り輝く大家の令夫人が女中連れのお買物もあれば不況の煽りに爪を剝き果てたと言ふやうな生活に疲勞しきつた裏店のお女房さんが泣く兒を綾しながら廉賣品を漁つてゐる、彼女の色艶の良くない顏には欲しいけれども仕方がないと言ふ悲しい諦めがある、夫々分に應じて大きな紙包を大切さうに持つて出る處定場では流然戰場と同樣で右から左から攻勢を急いでゐる、賣場の前には暮の忙しい用を帶びた人達が新年用の帽子、靴、ネクタイ、小間物と云つたやうなものを覗いてはゆく

不景氣知らずの本屋さん 飛ぶやうな賣行

『主婦の友新年號』『改造新年號』と三十幾種の色彩した新年號のビラが店頭に掛けてある大阪屋號の新聞賣場には凡そ三尺の高さに堆く山と積まれてゐる、店員達は客荷の荷ほどきに目を廻してゐる、大震災は礎に出版界の一大打擊には違ひなかつたが然し各種雜誌の新年號は此のショックの爲に一種の緊張した雜誌味を加へて來た、賣れるのは何と云つても娛樂雜誌で『講談倶樂部』だの『ポケット講談』などが筆頭で『主婦之友』に『婦人の友』など云ふ婦人雜誌も相當捌ける

『二十日後は非常に良く私共の店では別に景氣不景氣に依つて左右されるやうな趣味ではありません』と忙しい相に店員の手の足らぬ所を店主が客に接してゐる

廉い品がよく賣れる

三越デパートメントでは橋本上野兩首腦が語る

『不景氣だと申しますが二十日以後は非常に賣れます、商品券もよく出ます何うしても所用品だけは買はなければなりませんからね唯昨年あたりから見ると若干賣物の標準價格が安くなつて居ります尤も商品の値が下つてゐるのもありますけれど……』此處も一階の食料品部雜貨部から階上の呉服部に身動きもならぬ混雜で、肩に三の白字の腕章をつけた此のメッセンジャーは物の醜惡に息つく暇もない有樣である、

塵芥自動車四臺購入
試驗の成績は良好

京城府衛生課では過般來來倉町南大門通りの一部を初め其の他に於て塵芥搬出に自動車を用ひて試驗を行つたが其結果一臺一日の搬出度數は九回であるが之は尤も冬期の事であるから夏期であれば優に十三回の搬出は出來得る見込である、今回の試驗から見れば自動車一臺の能力は馬車の八臺乃至十臺の能力に相當するから之を自動車に替ふれば一臺に付き一ヶ年の經費約三千圓位は節約になるとの事である所で全市內の塵芥を搬出するには自動車十二臺を要するのであるが道路の關係上自動車不通の場所もあるので先づ六臺位しか使用は出來ぬだらうが來年度は差當り四臺の自動車を購入して塵芥搬出に從事せしめたいと當局者は目論見で居る、自動車一臺に付いて六七千圓は掛る豫定であるが併し此の經費は二ケ年經過すれば優に回收し得ると云ふ事である

大祓と除夜祭 京城神社で

京城神社では恒例に依り三十一日午後八時から大祓式を擧行する式次は當夜拜殿前の庭上に祓殿を設けて祓所を設け祓物を匿き金光宮司以下齋員著席大祓詞を述べ大麻行事を行ひ齋員明職を以て祓式を終り祓物は漢江に流すので我國古來の神事で本年下半期の間に不知不識の間に受けた罪穢を祓ひ心氣一轉して清新な元氣で新年の行動に資せんとする行事である、祓を受け度い人は同時刻社頭に參集せられ度いと右終つて同十一時より本年最後の祭典除夜祭を執行すると

夜鬪し 地主の邸內で 小作人四十餘名

大阪府下三島郡山田村の地主吉川時三郎と小作人四十四名は小作米不納問題に付き係爭中であるが本年の小作米納付に付小作人は吉川に交涉中の處吉川は取合はず爲に小作人は二十七日吉川宅邸內に小作米二百俵を山と積上げ受取つて呉れと申出たが吉川不在の爲め如何とも出來ず小作人は歸宅まで待つとて米を護つて夜を徹し門內を去らずに睨み合つてゐる（大阪電報）

民刑事件の總勘定
一切合財で約一萬件 裁判所開設以來のレコード破り

裁判所も廿八日で御用納ひとなつた、本年の裁判事件の總勘定を調べて見ると、例年に比し非常な增加で裁判所が始まつて以來のレコードで、多い年に較べても三割から四割の增加になつてゐる、と監督書記は語つてゐる、刑事の訴訟事件が五百四十三件で民事の訴訟事件が九千三百二十五件、外に民事非訟事件が二千九百三十四件、督促事件の支拂命令が實に五千五百一件、それから强制執行が八百八十八件、際どい處では破產事件が二十六件其他で約二萬件に登つてゐる、それから登記の方は何うかと云ふに之も矢張り增加で不動產登記が一萬二千百十件、この外に商業登記が二千六百七十三件と云ふ恐ろしい數字を示してゐる

滿鐵事件無罪
二十八日控訴院の判決

世の耳目を聳動せしめた滿鐵事件の公判は二十八日東京控訴院に於て開かれたが左の通り判決言渡があつた（東京發至急報）

無罪 中西清一
無罪 小日山直登

府廳の土木技手が我が家へ放火した？
保險金欲しさの芝居らしい 身柄は檢事局送り

去る二十三日午前二時半頃府內長沙洞一五四番地京城府廳土木課技手松本藤三郎（三七）所有二階建家屋より出火したが大事に至らず間もなく鎭火した所轄鍾路署では出火原因に不審を抱き松本は去る七日東洋火災保險會社に二千圓の加入を申込み二十二日本契約をしたので保險金欲しさの餘り放火したものらしく又自宅で電流を盜用してゐることも判したが同署では絕對に秘密に取調べを續行し身柄は二十八日檢事局へ送られた松本は事件發覺するや免職になつたと

又も釜山の大火
全燒二十五戸を出す

二十八日午前二時釜山富平町三の四四金命淑方裏手から出火し火は見る／＼西隣を舐め道路を隔てゝ相對せる瓦葺會社の如きも一時危[illegible]みで食ひ止め內地人家屋三棟九戸倉庫一棟鮮人十二棟十五戸合計十六棟二十五戸の全燒を出し五時二十分鎭火したが幸ひ古家のみの所とて損害は二萬圓を超へず原因は目下取調べ中（釜山特電）

旅行中に就き年末歲始の禮を缺く 林景來

関雪畫伯が逆に破門狀を

……してゐる竹杖會脫會狀を會長畫伯に突きつける事になつたのであると（京都電報）

童話 鶴の塔 巖谷小波（禁轉載）

『中』

不思議な鶴の背を渡らん、無事に大川を越した甲太郎は、尚先へ進んで行きますと、丁度二十里來た頃で、今度は高い山の麓へ出ました。

見上げると岩又岩が、幾十丈と重なりあつて、路らしくもついて居りません。

甲太郎は又途方にくれましたが、今更ためらふ場合でありませんから勇を皷してその岩に取りつき、上へ上へと攀つて行かうとしますと、にわかに狒々が出しまして、其處へ一羽の鶴が現れ、

『甲太郎さん、おぶつてあげやう。』

と、その背をむけました。

甲太郎は喜んで、直ぐその背に乘るかと思ひの外、頭を振つて、

『志はありがたいが、登丈けは自分が登るよ。』

と、そのまゝ岩を攀ぢました。

すると鶴はまた側へ來て、

『この山は三日かゝつても、容易に越せる山ぢやないよ。』

と云ひますから、

『ナニ三日？……それぢやアとても駄目かなア』

と、甲太郎もがつかりしましたが

斷念の體に、

『それぢやアお前の背に乘つたら何時間で越されるのだ？』

『それは只の三時間だ。』

『ナニ三時間？、では乘せてもらうか。』

と、その鶴の背を見ましたら、何時か雀ほどになつて居ました。

『なんだ……そんな小さな背に何うしておれが乘れるもんか。』

そんな事して、落されるより、同じ落ちるならこの岩から、轉げ落ちるまで自分の足で登る。

と、また岩に取つきました。

するとその山の岩が、一時にグラグラ動き出しましたが、別に甲太郎を振落しもせず、却てその身體を岩に着けたまゝ、クルリと大きく廻つたと思つたら、甲太郎はもう山を越してむかふの麓に來て居ました。

これはと驚いて甲太郎は、此時後をふりむきましたらさしもの岩山は跡もなく、其代りに先刻の鶴が居て、

『ほんとにお前さんは感心な人だ。これならきつと藥が取れやう。』

と言ひます。

甲太郎はその言葉に力を得て、

『ほんとに藥が取れるだらうか？』

『それはお前さんの意氣組なら鶴も渡してくれるだらう。』

『ナニ鶴も？……それぢやア藥は鶴が持つてるのか？』

『さうだ。千歲山の大鶴が、千年かゝつてこしらへた藥だ、滅多なものには渡さないが、お前さんになら乾度くれるよ』

『どうしてそれが解るのだ？』

それは

『先刻七處へ來るまでに、あの大川を渡る時、鶴の背を借りやうともせず、又此の山を登るにも、私の背に乘らなかつたからだ。』

『それは又何う云ふ理由だ？』

と、甲太郎はそれを聞かうとしましたが、聞いて居ては時が經つので、

『イヤ、こんな事をして居られない。一日一夜で取つて來るのに、まだ先が十里ある。』

と、言ひながらまた走り出しましたけれども甲太郎は、初めから大分走りつゞけたので、此の時は餘程體がくたびれ、一寸した小石にも足をうちあてゝ、あやふく轉ばうとするのでした。

それに腹は減る、息は切れる、今はへば眼もまはる樣に覺えて、今はさすがの甲太郎も、しばらく休まずに居られなくなりましたが、なんの、斃れるまで走つて見せるぞと又前へ進みました。するとだしぬけに前の方から、何とも言はれない芳い香が、サッと鼻をうつたと思ふと、忽ち元氣が持ち直して、足も急に輕くなるではありませんか。

怪しい職人

千葉縣師塚郡市場町生れ當時住所不定の皮細工職江波戸濟（二七）は二十七日午後九時半頃京城驛二三等待合室を徘徊する擧動が怪しいので本町署員が取調べると身分不相應な大金を所持して居り泥醉して居た爲窃盜嫌疑者として留置され取調べを受けて居る

爭鬪事件控訴

奈良縣に於ける國粹爭鬪事件の判決を不服として水平社側は二十七日控訴の手續きをしたが國粹側も又控訴した（奈良電報）

我家の雜誌
正月から何を讀む 雜誌を選ぶは今!!
◇新年号から讀み
◇始めるのが一番

婦人も男子も、若い人も老人も、雜誌は讀みたいものだ、せめて新聞を讀んでゐる位には、知らず知らず物識になり時勢に遲れず、又愉快に讀めるのは雜誌だ、それは實に家庭になくてならぬ物だ。

◇一年の計は正月にありといつて雜誌を讀むにも新年號から始めるのが最も都合がいゝ。そこで何れの家庭へも是非お薦めしたいのは何ういふものがいゝかは、餘程六かしい問題だが、世間の評判に基礎して二三種を擧げて見よう

◇一般向きのものといつては、何んといつても『講談倶樂部』『面白倶樂部』『現代』これ等は問題の無い所、一番やかましい婦人もので隨分色々たやうなものが多いが、上品で實用的なのは『婦人倶樂部』であらう。殊に新年號『婦人倶樂部』は『結婚准備育兒秘法寶典』といふ寶本が附錄としてついて居る

◇青年學生や一般青年諸君には『雄辯』を措いて他に適するものは見られない。御子樣方には興味と實益とを兼ね、學校の先生からも大歡迎されるもので『少年倶樂部』『少女倶樂部』がある。以上は何れも現代各方面の代表的雜誌である

大正十二年民申第二九一三號
公示催告
東京市日本橋區兜町五番地
申立人 株式會社東京渡邊銀行
京城府貞洞十一番地
右代理人辯護士 片岡介三郎
一、朝鮮殖產銀行發行朝鮮殖產銀行債券
但第貳拾八回額面金壹千圓券第七七壹號大正拾參年貳月壹日以降利札附利息年八分大正拾貳年七月拾日ヨリ大正拾四年八月壹日迄據置大正拾七年八月壹日迄ニ隨時償還
右證券ニ付申立代理人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正拾參年六月參拾日迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スベシ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアルベシ
大正十二年十二月二十五日
京城地方法院

大正十二年民申第二九一四號
公示催告
東京市日本橋區小網町一丁目五番地
申立人 小松宇兵衛
京城府貞洞十一番地
右代理人辯護士 片岡介三郎
一、株式會社朝鮮殖產銀行發行朝鮮殖產銀行債券
但第貳拾八回額面金壹千圓券第四〇四七號大正拾參年貳月壹日以降利札附利息年八分大正拾貳年七月拾日ヨリ大正拾四年八月壹日迄據置大正拾七年八月壹日迄ニ隨時償還
右證券ニ付申立代理人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ大正拾參年六月參拾日迄ニ當院ニ權利ヲ屆出テ且右證券ヲ提出スベシ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サザルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアルベシ
大正十二年十二月二十五日
京城地方法院

京日案內
五號活字十五字詰五行一回壹圓五拾錢匿名ハ壹回每ニ貳拾錢增料金ハ前金ノ事

觀相
石龍子先生直傳
從五位勳五等（龍瑞）酒井三郎
京城本町五丁目八十一番地
電話本局一一九二番

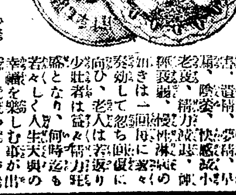
公債
債券特別高價に買受申候。御報次第參上
京城黄金町三丁目若草町停留場傍
佐野喜平次
電話本局六七六番

貸家
岡崎町一九新築 日當りよく 水道設備完備 瀟洒な方へ貸したし 外に古市町貸倉庫あり
電話本局一八一番 熊野商會

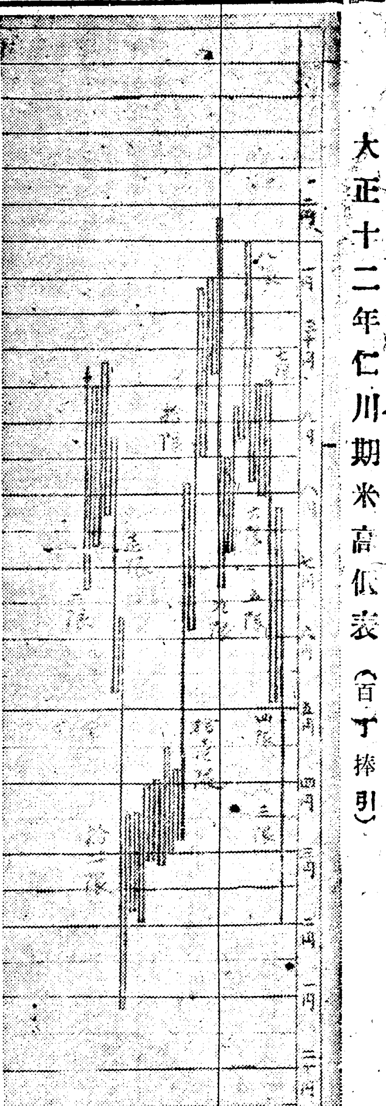
稻葉醫院
平壤本町 電話七〇九番

板倉暢一郎
居所を急報せよ 工藤

病氣靜養の爲旅行致候に付年末年始缺禮仕候
京城御成町 小山光利

生殖器の復興
發育不完全機能衰弱の復活法
金牌受領の眞空水治療法器
八大醫學博士實驗證明と讚辭
八十の翁年四十の老人といふ諺の如く世間には七十八十にして未だ元氣旺盛社會の各方面に活躍すると共に性的方面に於ても綽々たる精力の餘裕を示す人あり、四十は愚未だ三十を出でずして早くも生殖機能力衰弱し身心の憔悴して、生氣なく、活力なく、衰弱に陷り、其結果夫婦間の愛情も失ふに至る。
之生涯最大の悲哀たる生殖機能障害、神經衰弱の復活法は世界の大發明大金牌を數個受領し我政府より合計七個の特許權を下附せられ尚八大醫學博士を初め專門大醫三十餘氏の實驗證明と讚辭を得、なりせる本所の治療器を用ひれば藥で治らぬ生殖器狹小を發育せしめ、手淫及び過度の爲め遺精、夢精、陰萎、早漏、快感減小、老衰、精力減退、神經衰弱に忽ち效驗し、老人は若々しく返り、少壯者は益々精力旺盛となり、何時迄も若々しく人生の大與の幸福を樂しむ事が出來る。費用は僅少で安全秘密の治法なれば內地は勿論遠く海外迄も好評嘖々として全治實驗者の感謝狀續々來る。
高一第位名譽大金牌

▲包莖は從來手術して切るより外に道のなかつた包皮を專賣特許の完全自療器で無痛無血切らずに治る
實驗例付詳細說明書申込み次第無代で個人名義◆偽物に御注意を乞ふ
東京市芝區愛宕下町三丁目四番地 電話芝六六大六 振替東京七七三九
東京 新療法研究所

大正十二年仁川期米高低表（百丁棒引）



十二度の期米一代
千二百丁の大高下

大正十二年度の期米一代は新春の劈頭以來波瀾曲折を描きつゝ逐月新値を切つて押し進むだが時偶々關東の大震災といふ前代未聞の慘禍に遭遇して財界は極度の悲觀に陷り新穀季節の接近と共に形勢一變して奔落に奔落を重ね其後帝都の復興氣分に逆轉反騰を演ずる等電光石化の激變を續け年初發會以來終に千二百丁といふ大高下を見るに至り米界に取つては隨分多事の年であつた今別表曲線に付いて一月以來成り行きを逆つて見ると新甫三月限りは大阪二十五圓九十九錢と中限に比し八十九丁の上鞘に初發會を受け仁川は二十二圓丁度と百三十丁の上鞘に生れ政府の買上げと山內、踏會の買進みに依り內地の正米高を添へて大阪二十八圓、仁川二十三圓の關門を拔き一時內地の古々米と格外鮮米の壓迫に一高一低の持合となつたが浮動人氣に終始した四月限は大阪新甫二十九圓九十八錢と八十八丁の上鞘に仁川は一段と人氣沸騰し二十四圓五十錢と六十丁の上鞘に生れ、內地米の實收增加に伴ふ政府の米買上の內定と內地市場の鮮米著目等にて大阪三十一圓仁川二十七圓臺に噴き上げ五限に移るや正米安株式安と政府第二回の米拂下の發表に乘じて政商筋や東京筋の賣進みとなり勝高維持の鮮米も崩落けして下旬の頃には廿五圓十錢と追込まれ六圓臺に盛返して六限を迎へ新甫發會は大阪三十二圓臺といふに買氣を煽り二十七圓丁度と九十一丁の大上鞘を附し其後鞘拔れや中限の玉洗れと株安を背景に一旦二十六圓四十錢迄押して久しく古々米と政府の拂下に禍ひせられ伸惱むだが下旬に入り渡米の萬歲鼓と賣方山內の降伏等に依つて大阪三十四圓、仁川二十八圓臺を以て中限に廻り七限新甫は大阪三十五圓四十錢と百二十七丁の上鞘を入れ仁川二十九圓二十六錢と百〇五丁の上鞘に始まり保安と內地殘存米の穩當說に八圓臺に落ち込むだが其後殘存米の穩當說に疑念を生じたると東京の買驗合を傳へて九圓臺摑みに返して納會を告げ八限に移るや端境期を控へて大勢愈じに買氣を勃發せしめ大阪三十七圓三十八錢、仁川三十一圓五十錢と躍進して本年の最高値を作つたが其後過度の挑弄を得て鞘稼の經過良好と肥料飢饉の影響に軟派の活動開始となり內地も又投げ米崩れと正米安を報じ月末は大阪三十四圓飛んで仁川二十九圓臺に落込み九限を迎へてより人氣は更に惡化して大阪三十三圓仁川二十六圓六十八錢と崩落したが天候の不良に災害懸念を萌ざしたる上阪地の冷氣や北鮮其他の稻熱病などの題材相重なり中旬に至りて大阪三十七圓〇八錢、仁川三十一圓五十錢と前高値に歸るを合し天候の恢復に再び賣氣を喚むで大阪三十三圓七十一錢、仁川二十八圓八十二錢と一喜一憂に此月を過ぎた十限は尙天候を本位とする丈け其日々の成り行きを異にしたが結局大阪卅六圓臺より廿八圓臺の不勢に終つた十一限は即ち關東大震災の慘禍に遭遇した月で新甫の發會は二十七圓四十錢と百三十丁の下鞘に始まり六圓臺の不勢を辿つたが右の悲報によつて翌二日より市場は遂に休會となり人心混亂の裡にも正米は被害地の食糧缺乏の氣構へによりて一時突飛の高値を唱へたるが人心の冷靜に復するや人氣も又次第に落ち付き期米も當三十圓二十九圓五十錢中二十八圓にて三期の總解合が行はれ六日より立會再開の運びに至つた大阪は之より一日前に立會を開始し先限二十四圓二十錢と休會前の止め値に比し二百丁高を入れ仁川も又同樣先二十八圓二十錢と百八十五丁高に發會したが震害に伴ふ應急政策として徵發令や暴利取締令の發布を見るに至り財界は極度の悲觀と相俟ち形勢逐日非に傾き中旬前後は大阪二十六圓十一錢仁川二十二圓〇五錢と暴落し三圓中心の小高下に越月した

十二限新甫は二十一圓九十錢と百六十五丁の下鞘に生れ內地米作第一回豫想五千八百餘萬石の發表を入れたると鮮米の東京移出絕望に更に敗化し六日は大阪二十五圓八十八錢仁川二十圓八十九錢と崩れたが之れを恐怖の頂天として政府の米買上げを動機に連日反騰を續け月末に至つて在米の激減と鮮米不足の事實化により大阪三十圓、仁川二十四圓臺を拔き一限に移つて以來政府第二回の買上げや第二回豫想の減收と株式綜高を添へ大阪三十五六圓仁川二十九圓臺に復活し一時正米の壓迫に二百餘丁の反落を告げたが株式綜高分の旺盛に財界の好轉を稱へ稍高氣に連れて買氣再燃し結局大阪三十五圓八十九錢仁川二十九圓五十九錢の好勢に大納會を告げた

株界一年の回顧（中）
京取を中心として

右は一般株式界の大體觀であるが更に京城を中心とせる株式界は大正十一年の財界が極めて不況裡に終りたる結果本年は一時中間景氣時代に創立せられた各會社が整理統一を見るべき年であつて先づ第一に京取に次いで人氣株であつた京城證券信託株式會社は十一年末より京取に合併の議が進行して遂に本年四月を以て京取に併合せられ京取市場より永く其人氣株を失つたのである此の合併の副產物としては合併決議無效確認等と云ふ訴訟沙汰まで起り仕手は之れを京取戰に利用して人氣を惡化せしめた事もあり次いでは合併利益を以て特別配當として京取の拂込に振替充當せられた結果仕手の爲めに仲買人を相手として所謂配當返還の訴訟が提起せられて未だに落着の運びに至らない一時は甚しく京取の人氣に少からぬ影響を與へたのである其れに依り更に重大なる人氣の惡化を招來したのは合併に依りて京取市場の擡株となつた自己株二萬二千の頭腦へである六月京取總會に於て會社重事者は五十幾圓と評價したのを株主にして仕手である所の某々數氏は評價の切り下げを高唱して自己に利せんが爲めか將又會社の所得稅を減少せしめんが爲めの愛會社的かは判らぬが會社の提案を承認しない爲めに市場理事者は一氣に十幾圓を切り下げて評價を四十二圓に切下げた結果所謂仕手株主が一時的の利益は收め得たかも知れないが永久に株主として將又經濟界として二十幾圓を失つた譯である元來京取株を主眼とせない所謂投機株たる京取の如き大新の如き三十圓が相當なら五十圓も八十圓も百圓も百五十圓も亦相當であつて要は八十圓臺で揉み合ふか三十圓臺で揉み合ふか其邊の問題であつて茲に人氣と云ふ妙味が無ければならぬのであるが京取は四十二圓と云ふ門が這入つた以上は此の妙味が全く消失したこととなり仕手は一時の利得の爲めに永遠に京取の妙味を削減せしめた譯で之が爲めに大阪方面と終始呼吸を一にして居た京取が本年の半頃から次第に之れに副はぬ樣になつた唯一の理由で京取人氣の離散は此擡株に四十二圓と云ふ門が這入つたので買つて妙味なく賣つて趣味がない結果無味乾燥となつたのは蓋し當らずと雖も遠からずであらう

佛し此擡株も敞々來年早々から證券金融社の手を以て場外に於て地方分散的の處分に出る筈であるから此の脅威は先づ除去せらるゝものと見なければならない果して然りとすれば大正十三年に於ける京取相場は如何なる經路を辿つて市場の花形として活躍するかは蓋し見もので證券金融社の地方分散の實現が興味ある問題であると云はねばならぬ次に本年に入つて合併したのは現信託商信である現信は內容が疲弊し存續の根本問題に逢着するに至つたので釘本古城高橋の三氏が產婆役となつて合併することになり營業新資金三十萬圓を中村再造氏が提供することを承諾して總會の決議を見たのであるが其後中村氏の新資金提供不履行の爲め一時財界の問題となつたが結局中村氏は私財を投じて五圓買入れの事となり株式を一手に買收して此問題もケリが付いたが株式界に再び紛糾して市場で木の入ることは當分至難のやうである

次ぎに合同整理としては朝鮮土地と大正土地の合併であるが之は釘本天日、篠崎、吉田等諸元老の骨折で進捗して居たが東京震災の爲めに行惱みの姿である先づ事業株として朝鮮土地は先づ上々の方で市場での評價は資產株と云ふ風であるから至つて賦い然し氣配は常に良好で本年を終つたのである同じ土地にしても大正土地は朝鮮土地とは經營の方針が異つて居る爲めに夫れとは比較にならないとの一般の見込であるらしい一千萬圓の資金を以て中間景氣の泡沫頃創立された朝鮮信託會社は當初から一部株主と會社側との爭議があつて結んで解けず遂に株主側の裁判所に對する檢查役選任の申請を見るに至り釘本氏は裁判所の內命を受けて會社の資產狀態を調查した上兩者間の協調を試みて圓滿に解決を告げしめ減資をすることゝなり遂に五百萬圓に減資し且內部の改造をも決行し別當取締役退任して平井氏專務取締役となり山本支配人が去つて將來の營業方針を健確明立したことを聲明したので本年二月に市場の建株となり六圓擱みで生れた相場は財界の不振震災の影響等を除く五圓擱みの氣配を持續して居るのは信託株不況の折柄止むを得ない所に至つて居るふするに足り市場の出來高も相當にあり毎月平均二千內外の賣買が行はれるであるから先づ信託株の代表であらうと見られる

短期上場認可
と其條件

京取市場に於ける京取短期上場は最近總督より認可せられ來年一月新甫より上場することになつたが右認可に對しては左の如き條件が附帶されて居る

一、其の社取引市場に於て爲したる賣買取引の清算其他の事務は同社自ら之を行ひ他に委託することを得ず

二、其社株式の賣買取引に關する受渡し代金及物件の立替假渡に付ては七千株を限度とし之れを變更せんとする時は豫め朝鮮總督の承認を受くることを要す

三、繰延の期間は一ヶ月を超ゆることを得ず

四、立替假渡に關する決濟期間は一ヶ月を超ゆることを得ず

五、其社株の代用價格に付ては詳細に時價を調查し其範圍內に於て決定することを要す

六、計算金の徵收に關しては特に定款及營業細則の規定を嚴重勵行し市場統制の公正確實を期すべし

七、其社株式の賣買に付ては特に取引の趨勢及取組高に留意し決濟に關する危險の發生を防止することに努むべし

八、左の事項に付ては毎日之を朝鮮總督に報告すべし
（イ）其社株式の短期取引に付ては前場、後場の各寄付値段及引値段並に其賣買高
（ロ）其社株式の短期取引に對し立替假渡しを爲したる金額及株數

九、左の事項に付ては其の都度遲滯なく朝鮮總督に報告すべし
（イ）仲買人が賣買證據金其他諸計算金を所定の時限迄に納入せざるときは其氏名金額及事由
（ロ）仲買人に對し定款及營業細則の規定により處分を爲したるときは其要領及事由
（ハ）其社株式の代用價格を定めたるとき及之を變更したるとき
（ニ）豫納金徵收に關する賣買高限度及證據金遞增率に關する賣買取組高の限度を定めたるとき及之を變更したるとき

十、必要ありと認むるときは本條項を削除變更又は追加することあるべし

十一、本條項に違反したるとき又は監督上必要ありと認めたるときは其社株式の短期取引は之が廢止を命ずることあるべし

決濟方法決定

京取市場にては京取株短期取引を來年一月新甫より上場することに決定したので別記總督府の命令に因る一ヶ月決濟方法其他に付二十七日午後一時より市場に於て仲買人並に市場常部の連合協議會を開き協議したが決濟方法に就て市場側は小口決濟を主張し仲買側は總決濟を主張して互に讓らず議論沸騰したるも結局仲買側主張の通り左の如く總決濟に決定した

一、決濟は毎月々末に其月分の總決濟を行ひ殘玉は三十日後場又は一日前場バイカイを振つて乘替へる事

二、殘玉乘替へに對する手數料は普通手數料の十分の一を徵收すること

三、日步は京取に限り從來の率より幾分低くすること

四、京取五百株以上の建玉に對しては豫納金を徵收すること

商品市況

工業藥品（軟弱）前月來全く閑散裡に經過して頗る活氣ない商狀である殊にアンモニヤ揮發油等は賣行不況にヂリ安を辿り先行尙一段の下押しは免れぬだらうと觀られて居る

賣藥類（閑散）例年風邪藥の需要季なるに拘らず最早小口ながらも一方地方筋へ行渡つた後とて荷捌け薄く賣行鈍調である之れは歲寒期に入つても暖氣のため罹病者少ない爲めであるが一般の不況は凡てに影響するので本品界も尠からず打擊を受けて居る殊に四季樓丹、毒消丸仁丹、寶丹カオル等まで全く需要減退の傾向に至つた

下駄箱（軟調）原木高に押されて久しく强腰であつた本品界も歲末も餘日なく賣行も一巡の域に入り現在は一部需要筋の小口商內のみにて商狀閑散であるが一部商人間には投賣的に販賣者續出し爲めに相場も著しく軟調子を辿るに至つた年明の一月半頃よりは品薄を好材料に幾分か上放れを見るものと觀られて居る

綿絲布（底堅）材料未著なるも三品先物三百十二圓七十錢と又一段高を入れ市況急に活氣附き賣物更になく相場底堅く實需筋弗々ながら當用品の荷動きあり其の仲値相場左の如し
粗布三エー二百九十五圓九龍二百九十五圓大エー二百九十七圓金剛山二百六十圓金閣二百八十圓金管二百四十圓白頭山二百圓長鼓二百四十七圓集錢二百四十錢
細布飛犬（十三封度）十四圓二十錢北樂島十三圓十錢晒金巾進軍十三圓九十錢金鼎十三圓三十錢
綿絲扇面（十六手）三百五圓双女二百九十圓
晒木綿竹一圓十五錢椿一圓七十三錢

鮮魚（一進一退）寒冒も終りとなり上物も需要減退と共に下押氣分あるも正月を目前に控へ尙强腰各品一進一退の商狀である
鯛百圓小鯛八十五圓海老八十圓かじき七十五圓さば十二圓ぶり三十二圓ひらす五十五圓めばる八圓ほら十五圓あなご十八圓平目五十圓いか八十圓柱貝四十圓赤貝十圓さより三十五圓ます四十圓

群山正米
穀良三十圓四十錢神力二十九圓四十錢一月末限三十圓五錢二日中限三十圓七十八錢出來高七千四百石

大邱正米
現物穀良都二十九圓八十錢神力二十九圓二月中限三十圓四十錢出來高一萬石

釜山正米
現物穀良都三十圓神力二十九圓四十錢二月中限三十圓六十二錢出來高五百石

安東株式

		寄付	大引
○二十七日後場	安取 當	一七・九〇	一七・九〇
	安取 先	一八・二〇	一八・三〇
○二十八日前場	安取 當	一七・八〇	一八・一〇
	安取 先	一八・二〇	一八・四〇

鎮平銀

		寄付	大引
○二十七日後場	當限	一・二八三	一・二八五
	先限	一・二九〇	一・二九四
○二十八日前場	當限	一・二八六	一・二八五
	先限	一・二九五	一・二九三

日銀银況（二十六日）

發行高	一、五三六、七五六
正貨準備	一、〇五七、五六五
限外發行	三五九、一九一
貸出高	七四六、四八七

鮮銀银況（二十七日）

發行高	一〇九、四九七、〇八〇
正貨準備	三六、七一八、七二〇
限外發行	三、七七八、三五五

內地金利（二十六日）

	東京	大阪
無條件	二八〇	二六〇
翌日物	二七〇	二五〇
月越物	二六五	二六〇
六十日物	二六五	二六〇
普通割引步合	二七五	二五〇

支那郵便局

靴―靴―洋

用監獄調製學生服販賣開始
學生靴 特價販賣す御入用の方は御一報次第市內は店員拜趨可致遠方の御方には型錄送付可仕候
一ボックス總用靴賣出し一足金二圓八十錢均一
地方は足袋文數御通知下され度見計ひ御送附可申上候
大製造販賣 京釜線大田春日町一
朝鮮革具合資會社
長電話一七二番 振替京城九八七〇番

時計と寫眞機
貴金屬 寶玉石 銀器 銅器 錫器
活動寫眞機 幻燈機 各種材料
株式會社 大澤商會京城支店
京城本町壹丁目 電話本二六二番三三九番 振替貯金口座京城二三〇二

醫學博士岡崎桂一郎先生創案
人體營養の素
ヴイタミン ABG含有
ウイタシユム 審荷
百五入一圓五十錢 半五入五圓
釜山辨天町 藤田藥舖 電話長一八一番

支店及派出所
忠淸北道 淸州 忠淸南道 公州 全羅北道 全州 全羅南道 光州 慶尙北道 大邱 慶尙南道 釜山 黃海道 海州 平安南道 平壤 平安北道 新義州 江原道 春川 咸鏡南道 元山 咸鏡北道 淸津
右の外內地、朝鮮、滿洲、支那各地に爲替取引先有之候
預金 資金を殖やすには當行の『殖產債券』に御加入なさい。
資本金參千萬圓
年賦又は定期償還方法に依る勸業資金貸出の外一般銀行業務並貯蓄預金業務を取扱申候
京城府南大門通二丁目
株式會社 朝鮮殖產銀行
電話本局長六〇一四番 營業部 振替貯金口座京城四〇九番
頭取 有賀光豐

各種 貴金屬 白金 金銀地金 美術品製作
德力 出張所
京城明治町一丁目 電話二五一七番 振替京城三四二

朝鮮信託株式會社
◎營業科目 信託 金錢信託 有價證券信託 動產不動產信託 代理 保管 其他一般信託業
◎營業案內進呈
京城明治町一丁目 電話一五九番
仁川本町 電話一二二番

りん病 ばい毒 請合藥
定價 別製八圓 特製四圓 並製三圓
定價 別製四圓 特製三圓 並製二圓
百圓進呈
◎本劑りん病藥の主藥は治淋劑にして、ばい毒藥の主藥は梅內服藥として世界醫藥界上第一有効と確信せられつゝあり且內務省衞生試驗所の檢查に合格せる高貴藥を配劑せることを保證す若し分析の結果前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料として帝國醫科大學病院に於て實驗配劑せる金百圓を進呈す。
◎あらゆる治療法を講ずるも効なき患者は兎に角最後の手段として當商會に來れ。
◎花柳病理模型は全國及び海外に設備の專賣所店頭に陳列しあるを以て參考の爲一見せられたし。
◎本劑は請合藥に付き他の藥店に販賣を許さず故に入用の諸君は下記專賣所へ直接申込あれ。
關西 大阪三休橋北詰 電話船場一六一四番二三四四番
發賣元
關東 東京日本橋通四 電話本局一〇七七番三三八四番
有田ドラッグ專賣所
◎朝鮮 京城 南大門外 黃金町電車通 鍾路大廣橋 龍山練兵町 仁川宮町二 大田春日町一 群山京榮町 全州高砂町 木浦榮町 光州本町 麗水町 大邱弓町 甘浦港町 釜山辨天町 馬山京町三 慶南統營面 乘二浦本町 平壤郵便局前 鎮南浦三和町 新義州常盤町 元山本町二 咸興本町二 羅南生駒町
にせドラッグあり有田ドラッグ

內科 眼科 小兒科
本田病院
京城黃金町三丁目永樂町通り
院長 本田建義
入院隨意 附屬 普通病室 隔離病室
京城肛門病痔疾療院
病院用電話本局二四三番 自宅用電話本局一〇九八番 振替京城二二一〇番

宮內省御用達

ヒゲタ醬油
千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造
代理店 京城明治町二丁目 山邑酒造株式會社京城支店
電話長八二九番・一四四五番 振替貯金口座京城七五四番

少年少女 朝鮮小學新聞 新年讀物
◆吉祥草（童話）……中村長次郎
◆母の惠（課外讀本）……山本作次
◆打出の小槌（童話）……遞信局長 蒲原久四郎
◆雪の夜（童話）……奈良有道
◆傳書鳩（參考讀物）……秋山照滿
◆鼠の餅つき……濱口良光
▼內容充實眞に兒童の良友▲
新年特別增大號
▼七號は新年號と同時發行▲
◆神力三郎丸（少年武勇物語）……京中教諭 石塚藤太郎
▲今年は大事な年……秀峰
◆德惠姬御作品及兒童作品
●中等學校へ入學する者は是非知つて置かねばならぬメンタルテストに就て河野南大門校長、竹內第一高女校長の談
●理科童話、傳說、滑稽童話、懸賞作品募集發表等
其他面白い記事滿載
京城永樂町 朝鮮小學新聞社 振替京城一二九六九番

通俗太閤記

松林伯知講演
加藤由太郎速記

三百三十七回

筑前に堅く止められて暫く待つは官兵衛を喚び戻つてこれは沙汰止みとなつた、翌日筑前に置塩は早馬を安土に飛ばして三木城内の陰謀を密報せ至り筑前は手を加へ申さずば毛利家の加入を防ぐに難し、何卒御賢慮の御許しを願はしくと云つたから、信長公だつて斯くまで然い事があろうとは思はないに由つてお許しになりました、實議喜んで早速三木城の手入れ、城下城外の城にも手入れを加へまして都合大ケ所の砦城がある。尚にも重ねに重營を締め、三木の本城には其兵七千餘騎、矢張兵糧をも澤山に用意をいたしました時に三木城の一時に後藤基國といふ者があります、これは彼の有名な後藤基次の御先祖さんで、兵法兵術に達し明敏ならざる人此の謀叛に就ては

唯一人反對論者は此人ばかりだ兩軍戰評定に及んだ時に將監進み出で、某『此合戰は斷じて然るべからず、信長は當時右大臣の大將にましまして、且彼の勢を率して西方を征服す、何人か是に敵くことを得べし、羽柴筑前守とて昔は兎も角も播州一國を凡そ五十日ばかりに斬平げ、浮田和泉守を追討したる計策世の常の者の及ぶ處にあらず、毛利は其勢ひ盛んなれども、輝元年若くして侍を愛する途に疎く、且良將の道理を知らず今當城が秀吉を敵として籠城せば三十日を保つべからず、殿は未だ御年若くましませば左樣に思召すとも、老功の輩家これに御意見をなし玉ふべき筈ならずや、御城の御用意を遊ばし玉ふこと當家の滅亡を急がせ玉ふに似たり、何卒思ひ返させ玉へ』と涙を流しての諫言、山城守大に怒り『アヽイヤ後藤、籠城の儀一決せし上に左樣の言葉を以て諸人の心を迷はさんとするは奇怪至極なり、追り居らう』と顔色なく、某『御身の所業こそ奇怪至極なり、勝敗の理を存ぜずと思へばこそ所存を

策らず申すなり、兎も角も信長公との御手切れ然るべからず」と飽までも頑張つたが、別所家の大患は後藤基國の諫言も其甲斐なく、別所小三郎の一門郎黨は三木の城に籠城と相極まり與吉郎に據へました、秀吉は早くも之を知り、秀「遂て怪しき節のみ多しと思ひしが、扨は初めより謀叛の志しにてもあつたるか」と忽ちに是を反覆く、どうしても七千や八千の小勢にて永く支へられる道理はない、今日明日と毛利家の加勢を相待つた甲斐もなく十八日目に三木の本城は陷れられ、我城も捨らず直秀の軍勢のために陥れられた。然し秀吉は別所小三郎兄弟を少しも憎と思はない、と云のは年齢若輩にして全く山城守治郎の一存から斯る事になつたといふ事は察し

て居りますに出て、山城守其他の主だつた者だけを斬つて三木の城は小三郎に與へ、爾來志しを改めて織田家に仕へよと要々もの意見、是が秀吉の大きい處で、小三郎一門も其恩に感じ今度は餌を以て織田家のためなら一命をも棄てやうと云ふことになつた、然るに久しく御謀の絶えた浮田和泉守直家でございます、去年播州上月の城に於て僞藤十郎四郎、上月十郎、矢島五郎七等羽柴のために敗戰をなし、剩へ自分は二度目の勢を率ゐて後詰めをなしたる處筑前守の智略に依つて事も美事なる敗軍をなし、這々の體にて逃げ歸りたるを實に無念に思つて居りましたが、自分の力のみにては所詮も成り難く、如何にもして此恥辱を雪がんと心掛て居りたる處へ、上月の城は筑前守より尼子勝久並に山中幸盛其他の諸士を籠め置く由を承はり、浮田つくぐ～と思ふには『山中鹿之助が上月に籠もりしは必ず實作に亂入なし夫れより備前出雲の國を取返さんためなるべし』。

沙里院年頭拜賀式

【沙里院】明年一月一日の沙里院拜賀式は恒例に依り午前十時小學校で舉行次いで正午より同所で一般の名刺交換會を行ひ各種の虚禮は廢する事とした

趣味と批判

日誌より（四）

鬼十生

私はナー君の性格上の長所短所をよく知つてゐる、只私はナー君の家庭或は其の身邊に何か深い秘密が潜在してゐる事を悟知してゐる爲めに私の知つた範圍を越えた所に君の家庭の平和を破壞すべき何物かが横つてゐる事を認めてゐる

□　□　□　□

九月△日、私はナー君と京城劇場で會つた、離緣した夫人を見送る爲めに來たと分つたので私は南大門通りの某料亭にナー君夫妻を導いた、流石か兩人の顔色が平素と少しも變らないのみか、其一擧一動毎に益々私の疑惑を增長させた、食事が終つた時夫人が『あなたが今度何んな鬼さんをお持ちになるか、妾見に來たいわ』ナー君『知らせるよ、ナーニ乾度好いのを持つて見せるよ』私は呆れて二人の顔を見較べてゐたが『茶番も好い加減にしろ』と思つて二人を殘した儘勘定を拂つて外戸へ出た

十月△日の日誌にナー君の夫婦別れは事實であつたと書いてある。(終)

X光線の治病效果

X光線は皮膚も眼にも見ないが病を病巣へ巧妙に潜入せしむると忽ち其獨特の作用を起して色々の病菌や病的細胞等を破壞して治病上偉効を表して來ます然し若し其線の波長が病巣の深さに相當せぬ場合にはX線は病巣以外に吸收されて全く無効と成るものですから技術の熟練に依てのみ始めて偉效が表はれるので有ます

◇最も良い適應症は

るいれき。わきが。湿ね。肋膜炎。腹膜炎。にきび。水虫。頑固な皮膚病。癌腫。肉腫。等ですから是等に困つて居る方は我社の物理療法へ來られん事をお勸め致します

京城日報社代理部内

電話光化門四〇〇　構内廿四

十二月三十日

（舊曆十一月廿三日）日曜

▲五黄 ▲滿 無シ ▲除 ▲房宿
▲丁丑 ▲先負

▲五黄 ▲勵き迷ひの生ずる日外に出て損内に守つて安全南と西が吉
▼六白 ▲目上の人に從つて在外の福運を授がる開業大吉坤と艮が吉
▼七赤 ▲目出度い事の續く日思ひ切つて進んで待人來る坤と艮が吉
▼八白 ▲何事も内輪に行つて利益いては概ね損を招く南と西乾が吉
▼九紫 ▲順調の日ではあるが調子に乗り過ごすると損する東と巽が吉
▼一白 ▲家庭繁昌萬事順調内其他大概は骨折り損に終る日乾と西が吉
▼二黒 ▲喜つて幸運の日正しい行に努めて益々大利南と乾と西が吉
▼三碧 ▲外見はよくても内實は苦しい搗され易い日北と南と□が吉
▼四緑 ▲矢鱈に進むと意外な失敗を招く辛抱が第一東と北と南が吉

關釜連絡船

釜山發　午前十一時　午後九時三十分
廿九日　朝、昌慶丸　夜、德壽丸
三十日　朝、景福丸　夜、德壽丸
卅一日　朝、景福丸　夜、德壽丸

品質優良香味卓絶消化吸收容易なる理想的食料油

小平理學博士推奨　滋養食料用

冷壓 純粹 ミツワ白胡麻油（みつわしろごまあぶら）

賣價 壹合入金五拾錢　壹升壜入金參圓六拾錢

冷壓製ミツワ白胡麻油は普通の胡麻油とは、全然其製法を異にせるもので、嚴選なる白胡麻の種子を完全なる冷壓法に依つて搾取したものである、香味甚だ佳良永く貯藏するも變敗の虞無く、消化吸收容易なるを以て、サラダ油として食料に供し、殊に天麩羅の揚油として、最も好適なることは、其風味佳なる他に優れる風味の誇する所である、元來食料として脂肪の攝取は榮養上必要であるが、ミツワ白胡麻油の如く、品質優良にして消化吸收容易にして、而も滋養價甚大なる植物性脂肪の攝取は、榮養の完全を期するに最も肝要なことである。

天ぷら用　サラダ用　調味用　食料油

(現品寫眞圖)

天ぷらの揚油に就て

天ぷらを食して胃腸を害するは、其油が消化吸收せられぬ故である、ミツワ白胡麻油で良く揚げた天ぷらは、美味にして而も決して胃腸を害さぬから、曖氣出で又は下痢する等の憂ひが更にない、これは從來の油と其製法を全く異にせる、消化吸收容易の『冷壓純粹』白胡麻油であるからである。

賣捌 和洋酒食料品店・藥舗・雜貨店、最寄に販賣店なくば本舗より直送す（郵券代用不苦）

東京市日本橋區橘町

ミツワ石鹸本舗　丸見屋商店

製造所 東京市下谷區二長町　振替貯金口座東京七一〇番

1・2

現代的の匂ひ袋

良い匂ひ

ミツワ香嚢（みつわ・にほひぶくろ）

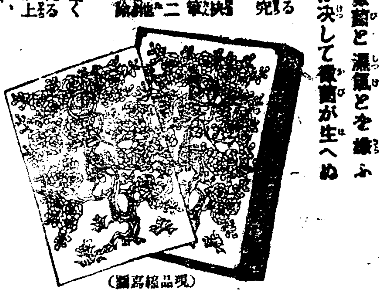
衣裳用 書畫、骨董、其他貴重品、蟲除用匂ひ袋 懷中用

◎香嚢の香料は黴菌と濕氣とを拂ふ
◎香嚢の在所には決して黴菌が生へぬ

香水はつけた時ばかり！ ◎香嚢は何時迄も永く佳香を保ち、頗る經濟！

定價 一袋金拾錢　十二袋入一箱金壹圓貳拾錢

ミツワ香嚢は古來流行せる匂ひ袋を、現代的に科學的研究の下に改善したものである。衣類を箪笥に仕舞ふ時、其袂に一袋づゝを入れ置き、又は箪笥長持及小箪笥の抽斗に、一二袋づゝを入れ置くと、衣服其他に移香して、佳香を放ち、殊に蟲除用の著しい效がある。懷中用 常に紙入財布に入れて置くと、少しも散らず、馥郁たる床しい香氣を放つて、香水以上の別種の優れた快感が得られ、書畫骨董其他貴重品の保存には、完全に蟲害を防ぐものである。



(現品縮寫圖)

賣捌 全國到る處の化粧品店・藥店・雜貨店、最寄に販賣店なくば直接本舗へ御註文あれ（郵券代用にてもよし）

東京市日本橋區橘町四丁目

ミツワ石鹸本舗　丸見屋商店

振替貯金口座東京七一〇番

10・2

歯の爲に一番よい

クラブ煉歯磨

感冒と云ふ言葉を無くする藥

一 鼻風邪からちやありませんか、そして又大いに笑はうぢやありませんか。所が多くなると、その働きや、その笑ひを邪魔するものがある、感冒だ。

二 我々はだから感冒に罹つては不可ない。罹つたものは早く治さなくちや不可ない。その豫防に、その治療に、我社の製出になれるホシ感冒錠を推稱したい

三 例年幾千、幾萬と云ふ使用者を有する大會社から必ず纏つた註文があります。感冒に罹らぬ様一般を豫防し大に能率増進を計つてゐるのであります。この一事を以つてしてもホシ感冒錠が如何に社會的に認められてゐるかを證して餘りあります。

四 ホシ感冒錠には最も純粹に製造されたキニーネを始め多くの有効成分を含有してゐるのであります。だからホシ感冒錠を服んで感冒が治らなかつたと云ふ人は未だ聞きませぬ。聞くのは「あの藥のお蔭で今年も感冒に罹らぬ」と云ふこと、「あの藥でヒドい感冒が直ぐ治つて了つた」と云ふこと許りであります。皆さんは大變喜んで下さいます。

五 どうか其の喜んで下さる人が、更に更に多からんことを望みます。それには皆さんが必ず多にはホシ感冒錠を服んで下さることであります。ホシ感冒錠をお服みになれば世の中から、「感冒を引いた」と云ふ言葉が無くなつて了ふのであります。

ホシ感冒錠

定價 三十錠 五十錠 一圓 二圓

資本金五千萬圓

星製藥株式會社

東京大崎

仁川 佐藤病院 院長ドクトルメヂチネ 佐藤小三郎 入院應需

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社 電話光化門 長 二八四番 二八五番 二八六番 二八七番

○釜山支店 佐藤町 電話六四番 一八四番
●元山支店 海岸通 電話一〇二番
●仁川出張所 海岸町 電話三五一番
●京城代理店 蓬萊町 電話龍山二七〇番

○元山代理店 吉田運輸會社
釜山丸 十二月三十日 大阪行
會寧丸 一月五日 下關行
雄基丸 一月三日 江原道行
立神丸 一月七日 敦賀行
平壤丸 一月三日 清津直行
咸鏡丸 一月一日 清津行
京畿丸 一月五日 雄基行
清津丸 一月九日 浦鹽行

○釜山代理店 大池回漕部
昌福丸 一月三日 東京行
咸山丸 一月十一日 大阪行
會寧丸 一月八日 下關行
當分仁川止メ 新義州行
京畿丸 一月二日 北鮮行
清津丸 一月七日 浦鹽行
京信丸 一月五日 鬱陵島行
雄基丸 十二月三十日 江原道行
濟州丸 一月三日 濟州島行
大國丸 一月一日 木浦行

○木浦代理店 山野回漕店
昌福丸 一月二日 東京行
咸山丸 一月九日 大阪行
統營丸 十二月三十日 釜山行
公州丸 一月二日 濟州島行
慶興丸 一月二日 多島海行
全州丸 一月八日 仁川行
咸山丸 十二月三十日 鎮南浦行
江原丸 一月三日 清島大連行

○仁川取扱店 堀回漕部
昌福丸 十二月三十日 東京行
咸山丸 一月六日 大阪行
咸州丸 一月二日 鎮南浦行
全州丸 一月三日 木浦行
巨濟丸 毎四日 濟州行
盈徳丸 一月六日 鎮南浦行
江原丸 一月五日 (青島芝罘大連行)
平安丸 一月九日 (芝罘大連青島行)

大阪商船出帆

仁川出帆
●大阪行（群山木浦經過）
◎第五晉船丸 十二月廿九日午後三時出
◎安南丸 一月三日午後三時出
◎第十四小野丸 一月九日午後三時出
●大阪直行
大信丸 一月六日午後五時出帆
●鎮南浦安東縣行
△江蘇丸 十二月廿九日午後三時出
△第七原田丸 一月 日午後三時出

元山出帆
●城津清津行
新高丸 十二月廿九日午後五時出帆
●釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
泰北丸 十二月廿三日午後四時出帆

大連出帆
●上海福州基隆高雄行
（但し○印は青島寄港）
盛京丸 十二月廿九日 午前三時出
丸十 一月 日 午後二時出

内地各港出帆主要航路

●歐洲行毎月十三回●南米行一年十回●濠洲行毎月一回●北米行毎月一回●孟買行毎月二回●南洋行同一回◎印一等御勵△印船客御斷

大阪商船株式會社仁川支店 電一、貳一〇・五五

切符發賣取扱所
京城 内國通運會社支店 電話七〇番
仁川京城通り盛旅館 電話二六番
事務仲次仁川本町 堀田組 電話二八四
荷捌 仁川港町 關口組 電話四二二番

三菱商事 船舶 仁川出入

往帆 尾道阪神行
長浦丸 十一月　日出
三瓶山丸 月　日
大黑山丸 月　日出入

鎮南浦行
長浦丸 十一月　日出入

三菱株式會社船舶部 仁川代理店

浦崎商店回漕店

仁川本町四丁目 電話長一八〇番